

UNZEN CITY COMPREHENSIVE PLAN

雲仙市総合計画

後期基本計画 数値目標達成状況

○将来像 豊かな大地・輝く海と
ふれあう人々で築く たくましい郷土

○将来像の実現テーマ
雲仙・山麓「食」・「遊」・「快」のくにづくり

○計画期間

基本構想	平成19年度～平成28年度
前期基本計画	平成19年度～平成23年度
後期基本計画	平成24年度～平成28年度



平成25年9月

- 基本方針① みんなでつくるまちづくり
- 基本方針② 快適で住みよい暮らしづくり
- 基本方針③ 笑顔いっぱいの健康と福祉づくり
- 基本方針④ 力強い産業と仕事づくり
- 基本方針⑤ 新しい観光・交流による活力づくり
- 基本方針⑥ 明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり

雲仙市総合計画後期基本計画(平成24年度から28年度) 数値目標達成状況

はじめに

雲仙市は、平成24年3月に「雲仙市総合計画 後期基本計画 2012→2016」を策定しました。この計画は、前期基本計画(23年度まで)の終了に伴い、経済情勢や社会状況など本市を取り巻く環境の変化を考慮するとともに、新たな課題について見直しを行い策定しております。雲仙市の将来の発展に向け、市民と行政が一体となって、活力と魅力あるまちづくりに取り組むための指針であり、市政の総合的な経営指針となっております。

雲仙市の将来像としては、「豊かな大地・輝く海と ふれあう人々で築く たくましい郷土」を掲げ、その実現のための6つの基本方針を設定しています。

このたび、この6本の基本方針にそって、各政策・施策の推進の成果を示す「平成24年度数値目標」の進捗状況をまとめましたので、市民の皆様へお知らせします。これは、平成28年度目標値(後期基本計画終了年)と平成24年度実績値を比較し、計画に対する取り組み状況を明らかにしたもので、目標達成に向けての進捗状況を示しています。

雲仙市総合計画の実現に向け、今後も計画の着実な推進をはかっていきます。

達成状況

平成24年度のうちに目標を達成した数値目標は、110件中26件でした。
基本方針ごとの内訳は、次のとおりです。

基本方針	達成数	目標数
みんなで作るまちづくり	8	16
快適で住みよい暮らしづくり	0	17
笑顔いっぱいの健康と福祉づくり	3	19
力強い産業と仕事づくり	4	26
新しい観光・交流による活力づくり	3	8
明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり	8	24
計	26	110

基本方針①

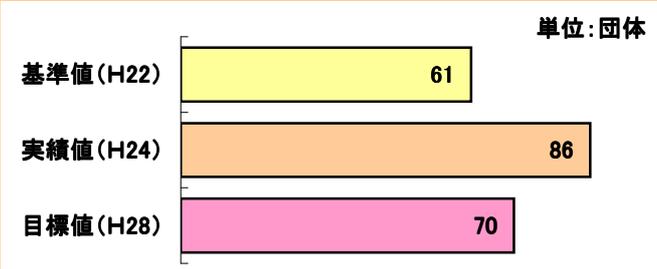
みんなで作るまちづくり

政策 1 参加と協働のまちづくり

地域コミュニティを守り育てる取り組みの推進と、NPOなどのまちづくり団体の育成や活動支援、イベント開催などを行います。また、市民の意見を市政に反映させる広聴活動を充実させます。

○地域づくり活動団体数

(市民窓口課)



◎説明

※目標達成!

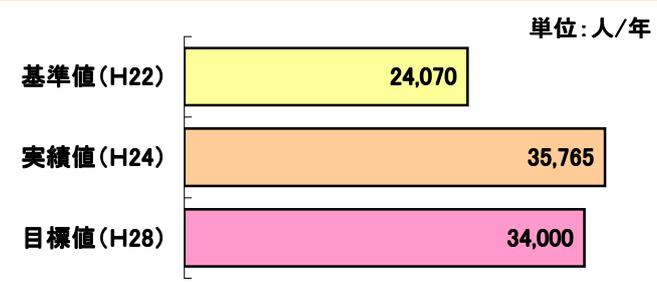
H18～H24地域づくり補助金活用団体数 71団体
地域づくりネットワーク登録団体数 15団体

(解説)

地域づくり補助金制度により、各種事業を実施した団体の累計及び地域づくりネットワーク協議会に登録している団体数。

○ふるさと産業まつり等への参加者数

(観光物産まちづくり推進課・市民窓口課)



◎説明

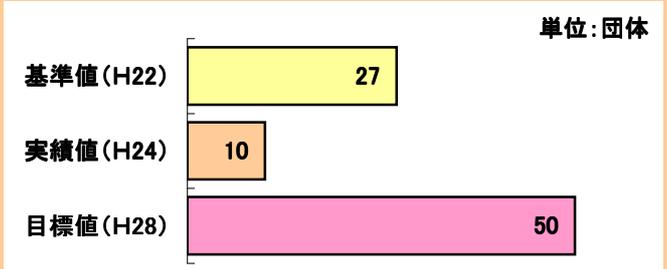
※目標達成!

雲仙モーモーフェスティバルinみずほ15,000人、おばまじゃがいも掘りツアー145人、雲仙市産業まつり10,000人、長崎県ジャンボかぼちゃ大会120人、雲仙かまぼこまつり3,500人、雲仙瑞穂特産品まつり6,000人、南串うまかもん祭り1,000人

○雲仙みずほカキ焼きまつりは、カキの不作により中止。

○NPO数およびボランティア活動センター登録団体数

(市民窓口課)

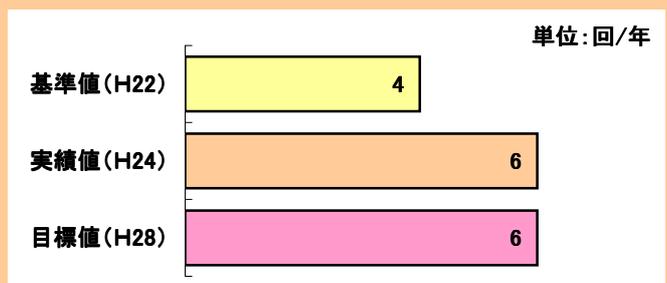


◎説明

NPO法人7団体+ながさきポランぼネット登録団体3団体
(※H23 NPO法人7団体+ながさきポランぼネット登録団体20団体)
※ながさきポランぼネット登録については見直しがあり、20団体から3団体に整理された。ポランぼネットは団体申請による登録。

○移動市長室等開催数

(政策企画課)



◎説明

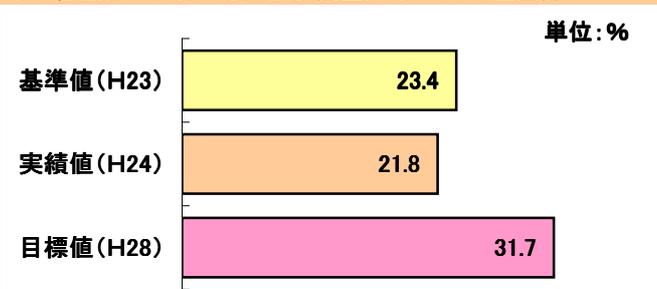
※目標達成!

(H24実績)
移動市長室 3回
市長としゃべってみゆう会 3回

政策 2 人権尊重・男女共同参画社会づくり

人権が尊重された社会を目指すため、研修会や情報発信などの普及啓発活動を推進し、偏見による被害・いじめ・DV等の未然防止と早期発見のための環境を整備します。また、男女とも主体的に参画できる社会づくりを目指し、政策方針決定過程への女性の参画の拡大など、男女共同参画を推進します。

○市審議会等における女性委員登用率 (政策企画課)



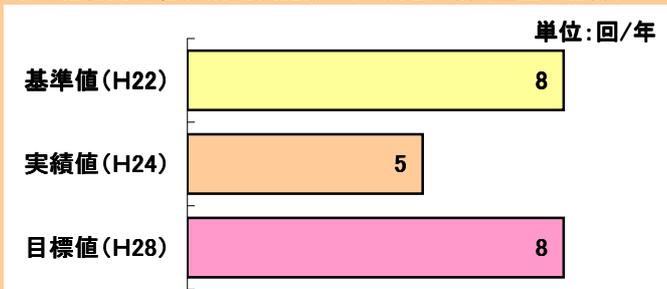
◎説明

地方自治法第202条の3に該当する審議会等数 (H24. 4. 1現在)
23団体中19団体

総審議会委員325人中71人 (21.8%)

※各種審議会委員において女性を登用するよう、男女共同参画庁内推進会議を通じ、各部局へ奨励。

○人権啓発の普及活動実施数 (市民窓口課・生涯学習課)



◎説明

・人権紙ふうせん打上集会 (小学校) 3校開催 3回
・人権問題を題材とした映画鑑賞事業 (市民向け) 1回
・人権問題の講演会 1回

○人権相談所(よろず相談所・特設人権相談所)開設数 (市民窓口課)



◎説明

- ・よろず相談所10回
- ・特設人権相談所7会場の2回開催 14回

※目標達成!

政策 3 効果的で開かれた行政運営

職員の能力向上や行政運営基盤の強化を行い、市民の行政ニーズに対応した質の高い行政サービスを提供します。また、多様な媒体を活用した情報の発信と公開を行うとともに、個人情報の適切な管理を行います。

○市ホームページアクセス件数 (政策企画課)



◎説明

インターネットを通じて24時間、雲仙市の情報を発信することにより、市政に対する理解を深めていただくとともに、雲仙市のさまざまな魅力についてPRを行ったが、アクセス件数は、入札情報や契約情報がHPからダウンロードされることや小浜ちゃんぽんマップの知名度がアップしたことに伴い増加したと思われる。

※目標達成!

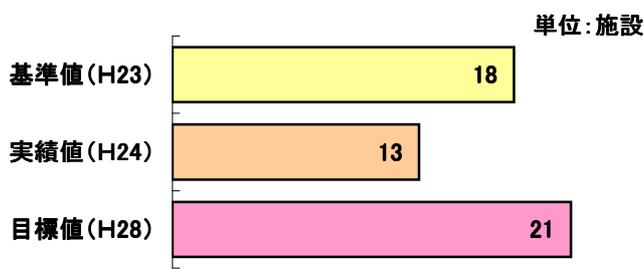
○市職員数(一般職) (行革推進室)



◎説明

定員適正化計画により、職員数の削減を図った。
退職15名
新規採用職員4名

○指定管理者制度の導入施設数 (行革推進室)

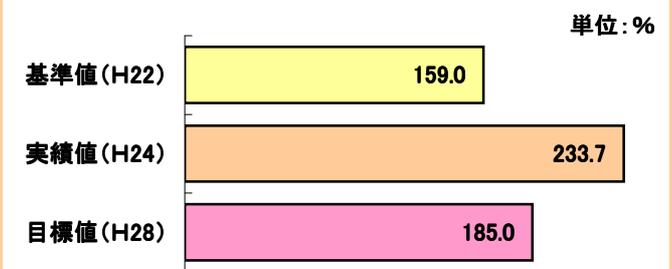


◎説明

平成23年度に指定管理者制度を募集したが応募者が無く、平成24年度から直営となった施設は、次のとおり。

- ・雲仙市瑞穂すこやかランド関係施設 (5施設)
- 平成23年度に指定管理者制度を更新した施設は次のとおり。
 - ・雲仙市国見総合運動公園関係施設 (4施設)
- 平成24年度に指定管理者制度を更新した施設は次のとおり。
 - ・雲仙市福祉施設 (7施設)
 - ・雲仙市リフレッシュセンターおばま
 - ・雲仙市小浜歴史資料館

○市職員研修参加率(一般職) (人事課)



◎説明

H24年度: $923人/395人 \times 100 = 233.7\%$

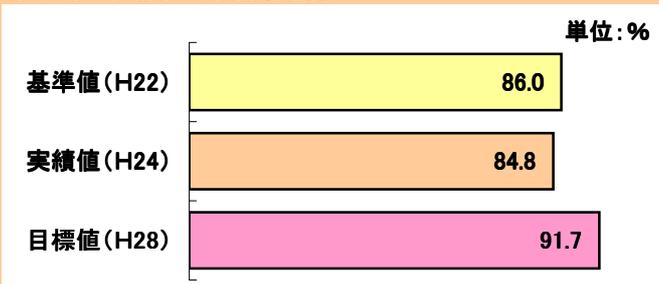
※目標達成!

階層別: 33人 専門: 111人 中都市: 15人 提案型: 17人 不当要求: 14人 九州地方整備局: 8人 J I A M: 5人 アカデミー: 16人 ニーズ: 4人 eランニング: 4人 特別研修: 4人 その他: 2人 職場研修: 690人

政策 4 健全で計画性のある財政運営

健全で計画的な財政運営を行うとともに、自主財源の確保や、市有財産の有効活用を行います。

○市税の収納率（収納推進課）

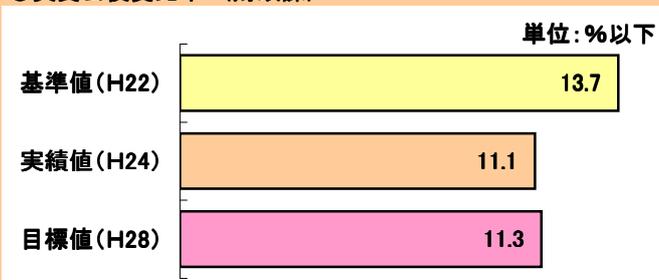


◎説明

復興需要等による景気を持ち直しが地方まで波及しておらず、デフレ状況の中で、所得低迷による生活困窮者が増加傾向にあり、滞納整理を強化するも前年度より収納率の減となった。

調定額 4,357,565千円・・・A
 収納額 3,670,241千円・・・B
 不納欠損額 28,011千円・・・C
 $B/(A-C)=84.77\%$

○実質公債費比率（財政課）



◎説明

※目標達成！

H24は分子である地方債(借入金)の元利償還金、及び債務負担行為等の準元利償還金の返済額が減少したこと。(約2億6,000万円の減)

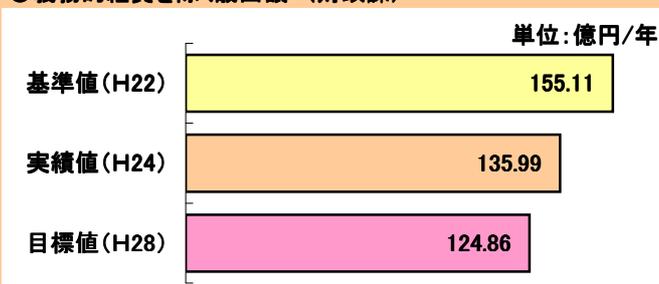
また、分子と分母の金額から控除する「地方債の償還に対する普通交付税算入額等」が約1億4,000万円増加したことで、比率が単年度計算で1.7ポイント、3ヵ年平均で1.6ポイント下がった結果となった。

【単年度の比率】

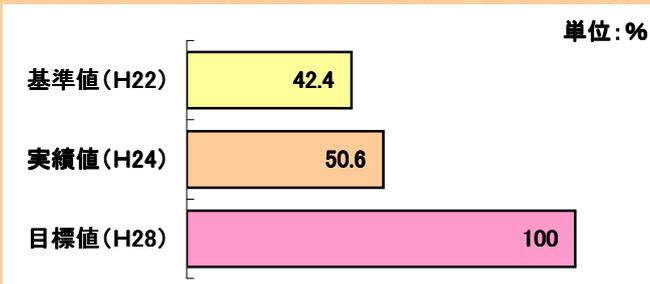
H22：13.1% H23：11.0%

H24：9.3% (3ヵ年平均：11.1%)

○義務的経費を除く歳出額（財政課）



○公共用地のうち登記可能な未登記物件の登記率（用地課）

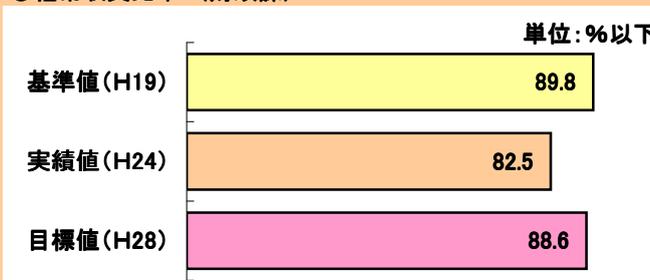


◎説明

相続関係で相続人全員の承諾が得られず、登記が進まない事例が多数見られた。

登記可能な未登記合計 10,500筆
 登記完了数 5,313筆(H24年度 348筆)

○経常収支比率（財政課）



◎説明

※目標達成！

分子は、人件費約7,100万円の減、定時償還元金・利子約1億6,000万円の減などにより、約2億1,000万円の減。

分母は、H24普通交付税の代替である臨時財政対策債の借入額が約10億円増加したことにより約7億8,000万円の増。

この結果としてH24の経常収支比率は、H23(87.4%)と比較して4.9ポイント減少し、82.5%と大幅に低下した。

【経常収支比率の計算式】

経常経費に充当した経常一般財源(14,953,834千円) / 経常一般財源総額(18,136,357千円)

◎説明

雲仙古湯街並み環境整備事業費・ごみ焼却場解体事業の事業量の減少などに伴う投資的経費約1億6,000万円の減、物件費全体で約2億6,600万円の減、基金積立金約2億8,000万円(うち減債基金△2億6,400万円)の減などの影響により、義務的経費を除く歳出額は全体で約3億9,400万円減少した結果となった。

※H23 139億9,300万円

政策1 快適で潤いのある生活空間づくり

上下水道や市営住宅、公園・緑地、海岸・河川・港湾、火葬場などの各種施設等の計画的な整備や維持管理を行います。

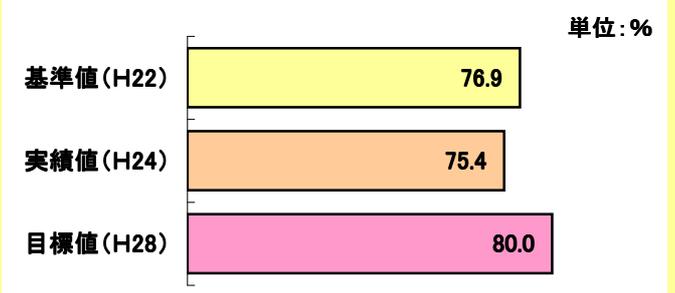
○水洗化率（下水道課）



◎説明

H24合併浄化槽人口（市型・個人型） 9,654人
 H24小規模集合排水処理（愛野東地区） 74人
 H24下水道事業 8,318人
 H24農業集落排水事業 3,854人
 合計 21,900人
 21,900人/47,615人×100=46.0%
 （H24より外国人登録含む）

○水道有収率（水道課）



◎説明

H24 4,535,092㎡（総有収量）÷6,011,213㎡（総配水量）×100=75.4%
 ※有収率とは、給水する水量と料金として収入のあった水量との比率のことである。漏水などを未然に防ぐための広報などに努め、今後も安全な水供給にも努めていく。
 有収率の改善がされない理由としては、統合事業等により改良工事時の洗管、水圧の変化による未改良区間での漏水、老朽管の漏水等により、前年度より有収率が落ちたと考えられる。

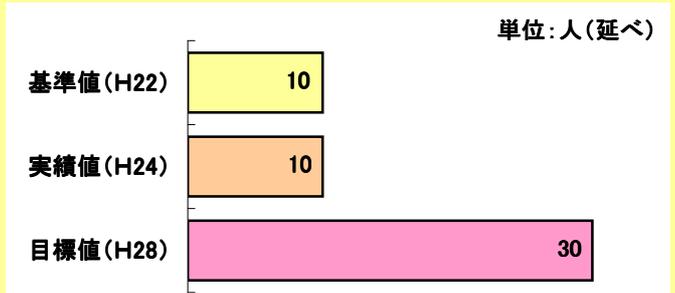
○水道管耐震化率（水道課）



◎説明

（H24耐震化布設延長+H23までの耐震化布設延長）÷総延長＝耐震化率
 （6.0km+25.3km）÷515.0km＝6.1%
 ※耐震化率とは、直下型地震又は海溝型巨大地震に起因する高いレベルの地震動に対しても壊れない配水管の布設総延長に対する布設率

○定住相談窓口への相談者のうち市内への定住者数（合併からの累計者数）（政策企画課）



◎説明

H19年3人+H20年6人+H21年1人+H22年0人+H23年0人+H24年0人
 ※H24年度において、17件の相談を受けたが、いずれも定住へ至らなかった。

政策2 災害に強い安心・安全なまちづくり

住民の防災意識の啓発の推進と、迅速で的確な防災情報の発信を行います。また、自主防災組織の育成・強化を図り、地域での防災訓練の取り組みなど自主防災体制のより一層の強化を図り、災害危険箇所の整備や消防防災体制の充実・強化など防災基盤の整備を推進します。

○急傾斜地崩壊対策事業整備率（道路河川課）



◎説明

H24年度 31箇所/137箇所×100=22.6%
 【整備率】＝崩壊対策施設整備済地区数÷崩壊危険箇所数

○防火水槽の設置数（20t以上）（市民安全課）



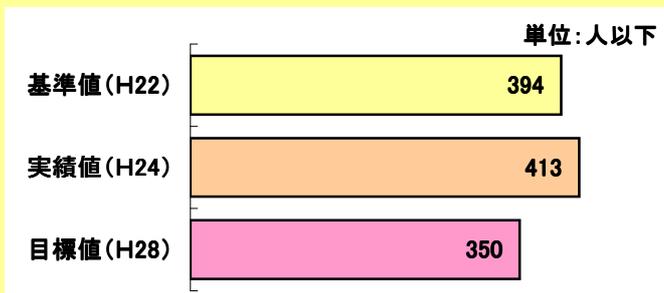
◎説明

平成24年度は2基（国見町、南串山町）の耐震性防火水槽を新設。
 また、吾妻町1基（既存撤去→新設）を更新した。
 ※H23 520基

政策3 安心・安全な暮らしの実現

地域ぐるみの防犯活動や交通安全活動を推進するとともに、防犯施設や交通安全施設の整備・充実を図ります。また、安心・安全な消費生活を確保するため、消費生活センターを中心とした相談体制の充実に取り組むほか、市民意識の啓発を行います。

○交通事故による死傷者数（市民安全課）

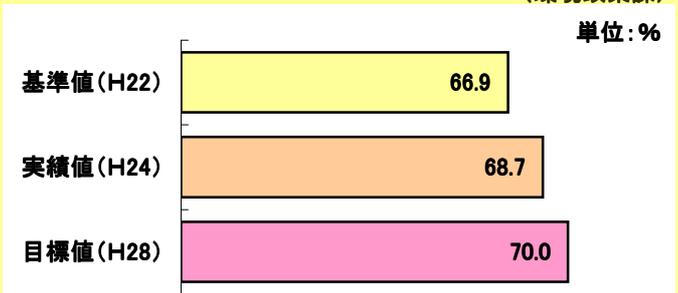


◎説明

平成24年は、死者数1名で前年より2名減少した。しかしながら負傷者数が412件であり、53名の増加となった。(H23 362人)引き続き、交通安全協会などの各種関係団体と連携を深め、交通安全教室や啓発活動の充実を図り、交通事故防止に努めていく。

○狂犬病予防注射接種率(登録犬への注射実施件数)

(環境政策課)



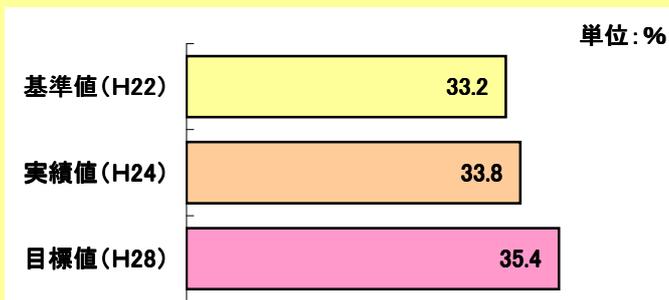
◎説明

平成24年度の犬の登録件数(2,753頭)の内、予防接種頭数1,890頭
 $1,890 \text{頭} \div 2,753 \text{頭} = 68.7\%$

政策4 道路網の整備

主要道路の早期完成と、愛野・小浜バイパス道路整備の実現を目指します。また、生活道路網について、拡幅や急カーブの是正などの整備と、長寿命化のための補修・改良、バイパス道路の整備などを計画的に推進します。

○市道改良率（監理課・道路河川課）

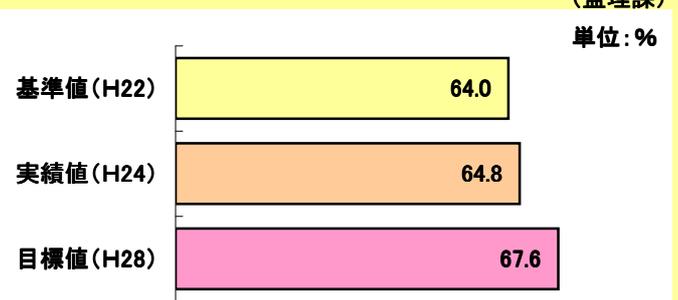


◎説明

改良率=改良済延長/実延長
 $363,841\text{m} / 1,075,087\text{km} = 33.8\%$
 ※市道において、計画的に改良・舗装事業を実施した。

○幹線道路網整備延長割合(1,2級市道改良済み延長割合)

(監理課)



◎説明

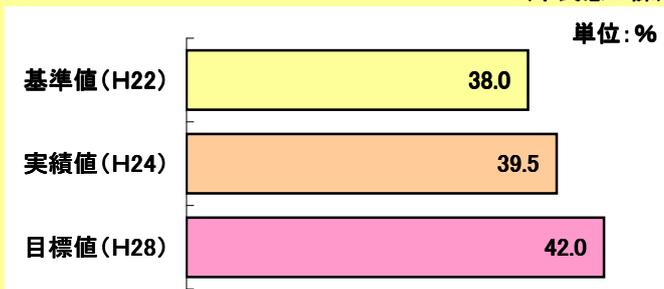
雲仙市内の幹線道路である1・2級市道として認定している路線は、191路線248,977mで、その内改良済みである路線は、161,428mで、改良率は64.8%となっている。

政策5 公共交通体系の充実

既存路線バスの維持・活性化の支援と、新交通システムの導入検討など、公共交通空白地域・交通弱者対策を展開します。また、本市の地理的特性を考慮し、交通ターミナル機能等の整備に取り組みます。

○バス停上屋整備率

(市民窓口課)



◎説明

【新規】0箇所
 $81 \text{箇所} (\text{設置済 バス停}) \div 205 \text{箇所} (\text{バス停総数}) = 39.5\%$

○1便当たり利用者数(乗合タクシー運行路線利用者数)

(市民窓口課)



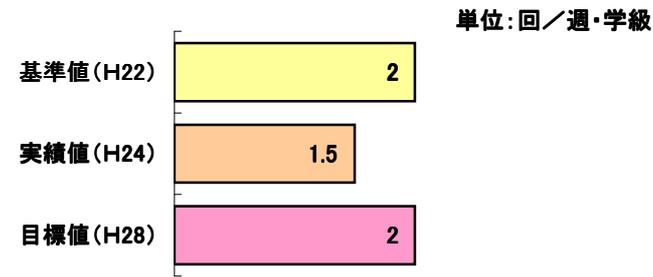
◎説明

年間利用者数: 32,185人
 運行回数: 7,103回
 $32,185 \text{人} \div 7,103 \text{回} = 4.5 \text{人}$

政策6 高度情報化の推進

市民の立場に立った情報提供の充実を図るとともに、ICTを活用した市民サービスの提供について研究を進めます。

○学校教育支援システム(インターネット・TV会議)利用授業回数 (学校教育課)



◎説明

1.5回/週・学級=0.36+1.16

(内訳)

・電子黒板でのインターネット活用 0.36回/週・学級

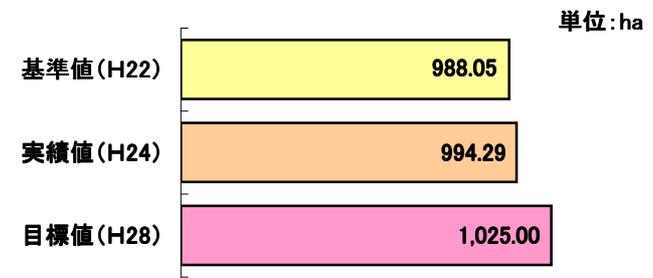
・パソコン室でのインターネット活用 1.16回/週・学級

※いずれも各教科・領域・総合的な学習等での利用場が教育課程に計画されている小学3年～中学3年のうち中学3年を除く学級数を基準に算出。(2月調査のため)

政策7 自然と共存する地域づくり

環境保全に関する意識啓発や活動に対する支援、森林の環境整備などを行います。また、循環型社会へ対応するため、ごみの減量化に努め、効率的なごみ・し尿収集・処理体制の構築や不法投棄対策の強化などを行います。

○保安林面積 (農林水産課)

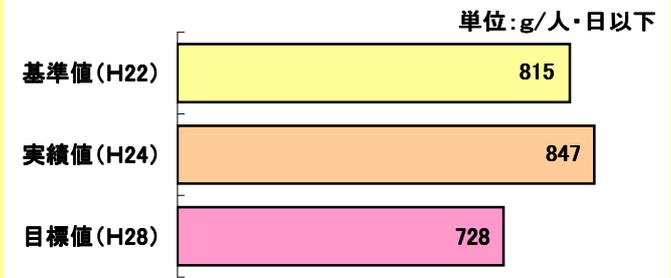


◎説明

平成24年度は、指定による面積の増はなかったが、一般県道雲仙千々石線道路改良工事に伴う解除による、0.32haの減があった。

※H23 994.61ha

○1人1日あたりのごみ排出量 (環境政策課)



◎説明

H24年度ごみ排出量14,815tを総人口47,919人で除し、一日あたりに換算した一人一日あたりごみ排出量は847gとなる。

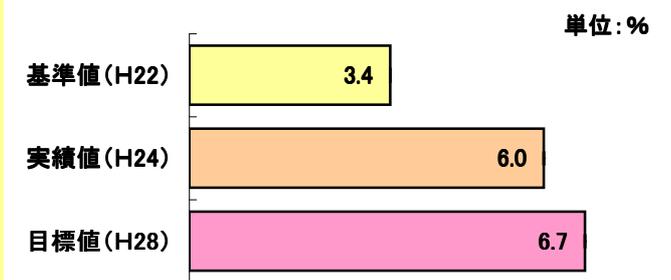
○ごみの再資源化率 (環境政策課)



◎説明

H24年度ごみ処理量14,815tのうち、資源化量は2,220t(15.0%)である。

○太陽光発電の普及率 (環境政策課)



◎説明

平成24年度実績

1,016世帯(累計)/16,967世帯中の太陽光発電設置(太陽光発電需給契約数) 1,016世帯÷16,967世帯=6.0%

※太陽光設置数は事業用を含む

基本方針③ 笑顔いっぱいの健康と福祉づくり

政策1 健康な地域づくり

食育の推進や各種健康教室の開催等により、『自分の健康は自分で守る』という市民の健康意識の向上に努め、各種健康診査による病気の早期発見・早期治療の推進に取り組むとともに、生活習慣病等の予防に努めます。医療においては、かかりつけ医をもつことの推進と救急医療体制を整備し、安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。

○特定健康診査受診率（市民窓口課・健康づくり課）

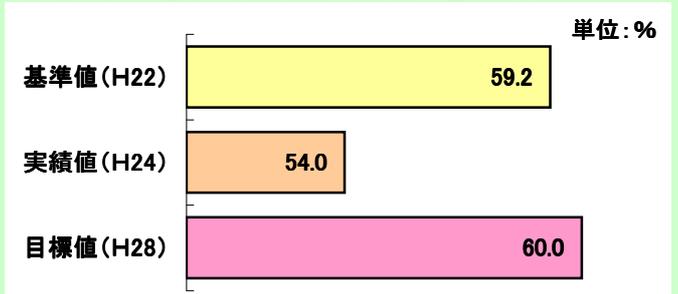


◎説明 国の指針に基づき、H28の目標値を変更しております

- ・南高医師会に委託契約
- ・実施期間 平成24年5月14日～25年2月28日まで
- ・集団健診 48日（午前27日・午後21日）
- ・個別健診 44医療機関（雲仙市：22、南島原市22）
- ・対象者数 11,173人
- ・受診者数 4,916人
- ・受診率 44.0%
- ・特定健康診査（国保被保険者40～74歳）の受診者数により受診率を算出する。年度内の資格喪失者は、対象者数・受診者数から除き、職場健診者も反映される。

※第1期計画（24年度 目標値65.0%）が終了し、新たな国の指針が示されたことにより、28年度の目標値を58.0%と修正した。

○特定保健指導実施率（市民窓口課・健康づくり課）



◎説明 国の指針に基づき、H28の目標値を変更しております

- 市の直営で特定保健指導を実施。
- 集団健診受診者は、結果説明会で初回面接、個別健診受診者は、健康相談や訪問で初回面接を実施し、6ヶ月の行動目標と支援計画を作成。その後健康相談、訪問、電話支援などで個別に継続支援を実施し、行動目標の評価を行う。
- 特定健診受診者のうち、特定保健指導該当者 645名（動機付け支援 413名、積極的支援 232名）、その内の特定保健指導初回面接終了者 410名 特定保健指導修了者（評価修了者）348名
- 特定保健指導実施率 54.0%
- （内訳）・動機付け支援 258名（62.5%）・積極的支援 90名（38.8%）

※第1期計画（24年度 目標値60.0%）が終了し、新たな国の指針が示されたことにより、28年度の目標値を60.0%と修正した。

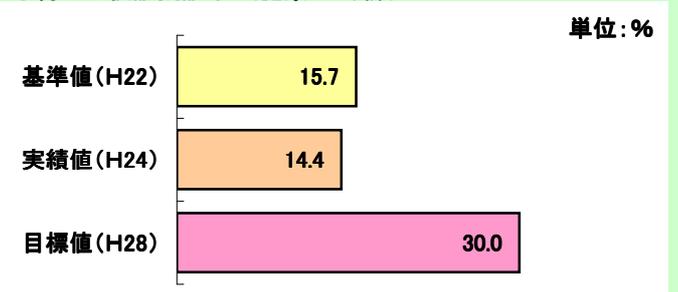
○地域福祉連合会設置数（福祉課）



◎説明 ※目標達成！

地域福祉計画について市内全域で進めるため、各町を単位として設立。

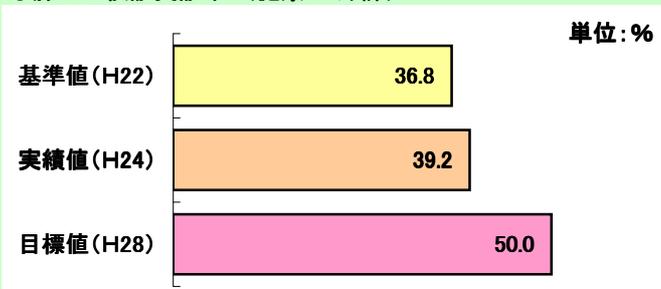
○胃がん検診受診率（健康づくり課）



◎説明

胃がん検診の受診状況（平成24年度）
 受診者数：2,553人（集団：1,597人 個別：956人）
 対象者数：17,685人
 受診率：14.4%
 23年度の受診率をやや上回った。（※H23 14.0%）

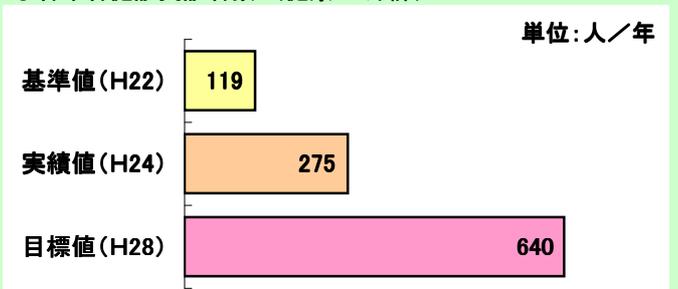
○肺がん検診受診率（健康づくり課）



◎説明

肺がん検診の受診状況（平成24年度）
 受診者数：6,937人（集団：3,277人 個別：3,660人）
 対象者数：17,685人
 受診率：39.2%
 23年度の受診率を上回った。（※H23 36.7%）

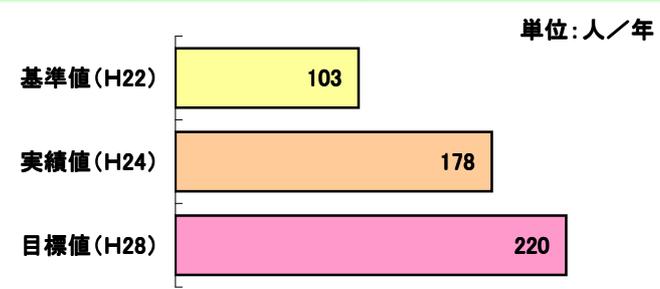
○若年者健診受診者数（健康づくり課）



◎説明

平成24年度の目標受診者数480人を達成することはできなかったが、23年度の受診者をやや上回った。（※H23 259人）

○歯周病予防健診受診者数（健康づくり課）



◎説明

平成23年度より対象者を40歳から70歳の5歳ごととして実施。目標受診率を5%の220人としているが、24年度は、目標を達成できなかった。（※H23 224人）

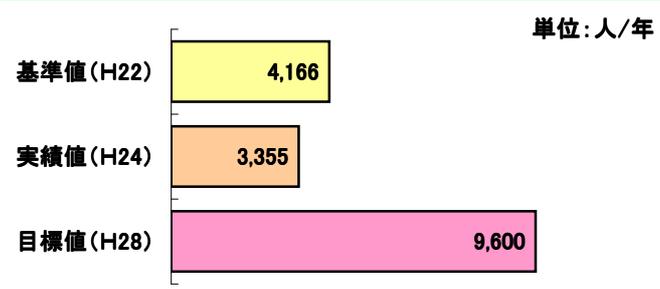
○公共施設へのAEDの設置数（健康づくり課）



◎説明

平成24年度は新たな設置箇所なし。

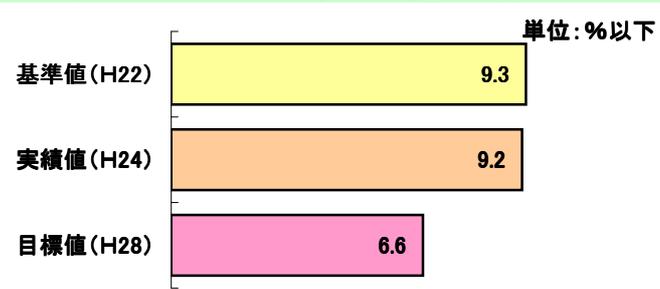
○食生活改善推進事業の生活習慣病予防事業への参加者数（健康づくり課）



◎説明

食生活改善推進員による健診受診の勧奨や食生活改善に関する情報伝達等、生活習慣病予防事業への参加者数を計上。平成23年度の参加者数を上回った。（※H23 2,966人）集会での参加者数を目標値としているが、食生活改善推進員による対話訪問による受診勧奨・情報伝達者数は、増加している。

○朝食を食べない人の割合(男性)（健康づくり課）



◎説明

雲仙市国民健康保険加入者40歳から74歳を対象にした特定健診の問診「朝食を抜くことが週3回以上ありますか」の設問で「はい」と答えた人の割合（解説）

雲仙市健康づくり計画「健康うんぜん21」の食生活取組テーマに則った指導や特定保健指導、また特定健診後の結果説明会時の指導などを年間通じて実施しており、平成24年の問診結果では、男性9.2%、女性については5.4%であった。

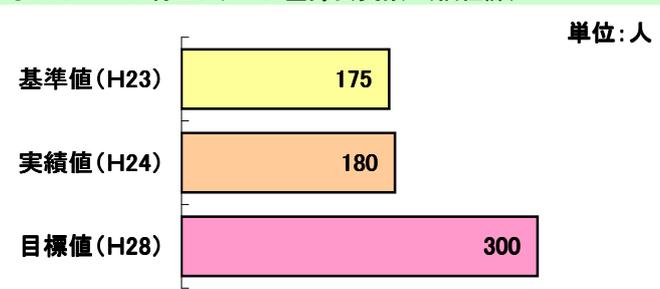
○朝食を食べない人の割合(女性)（健康づくり課）



政策2 安心できる高齢社会の実現

介護予防教室等の充実により、介護状態への移行や重度化を防ぎ、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、高齢者を見守り支えあう地域づくりを推進します。また、高齢者が進んで社会参加できる環境づくりに取り組みます。

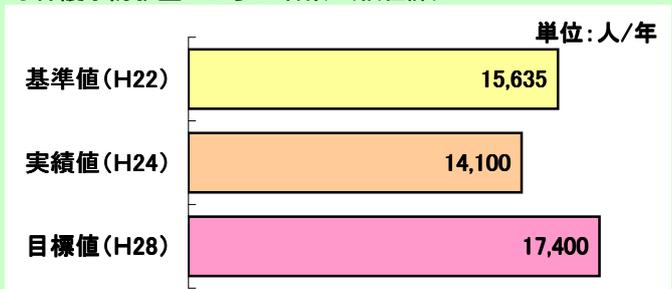
○シルバー人材センターの登録会員数（福祉課）



◎説明

年度末の新規登録会員数は、23年度の23人に比べ45人と倍増したが、病気等の理由での退会者が40人であったため、5人の増加となった。

○介護予防教室への参加者数（福祉課）



◎説明

ボランティアの方の協力や、参加者の中からリーダーとなっていたきながら、実施会場の拡大及び、実施回数の増加に努めた。社会福祉協議会で行っているサロン参加者は、年々高齢化しており、介護の認定を受ける方もいるため、サロン参加者は減少した。

○自主的な介護予防グループ数（福祉課）

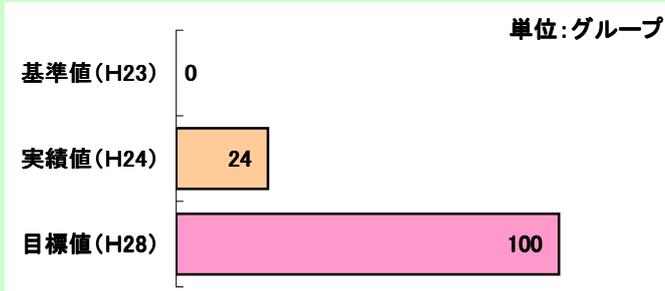


◎説明

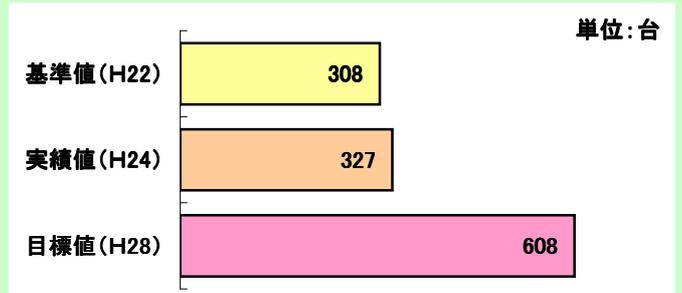
※目標達成！

24年度は、既存の介護予防教室や転倒骨折予防教室から自主的教室に移行するための支援を行い、自主グループ化をすすめ、自主的な介護予防グループを増やすことができた。今後は、グループリーダーやボランティアを支える体制作りが課題である。

○高齢者の見守りネットワーク協力団体数（福祉課）



○緊急通報システムを必要とするひとり暮らし世帯の利用台数（福祉課）



◎説明

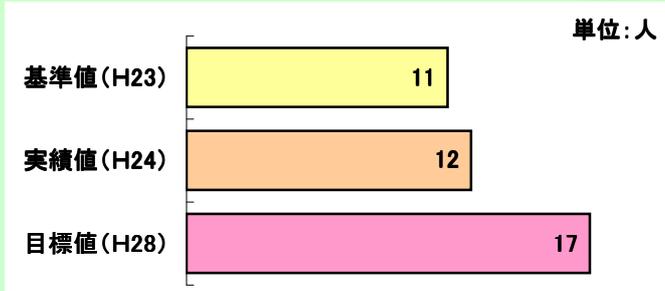
平成23年度末の実利用台数323台、平成24年度中の新規設置台数54台、撤去台数50台で実利用台数が4台増加した。

政策3 誰もが安心して暮らせる社会の実現

すべての市民が地域の中で安心して暮らせる社会を実現するため、相談体制を充実させ、医療、就労、施設整備などの幅広い分野において支援を行い、要援護者の自立と社会参加を促進します。

○手話奉仕員養成講座受講者数

(福祉課)

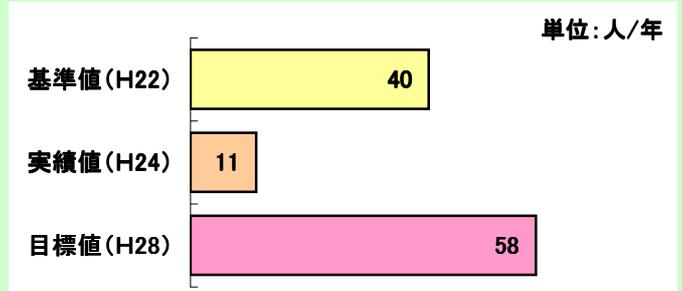


◎説明

手話奉仕員登録要件として、手話奉仕員養成講座入門課程及び基礎課程の両方を修了することが必須。修了者全員が手話奉仕員として登録。

○障害者就業・生活支援センター支援による就業者数

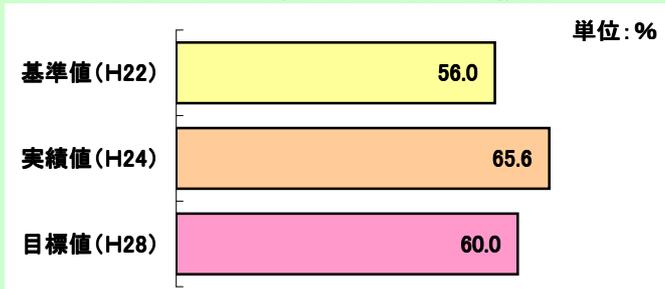
(福祉課)



◎説明

身体障害者0人、知的障害者10人、精神障害者1人の計11人が障害者就業・生活支援センターの支援により就職した。

○稼働年齢層への就労支援による就労率（保護課）



◎説明

H24 84人（就労者数）÷128人（就労支援者）×100=65.6%

（解説）生活保護費を受給している求職者へ、ハローワークからの求人情報の提供を行うなどの支援を行った。H24においては、対象者128人のうち、84人が仕事に就かれた。

※稼働年齢層：一般的に15～64歳の仕事をする年齢層を指す。※就労者数：就労時間が1時間でも、就労者となります。（統計局労働調査より）

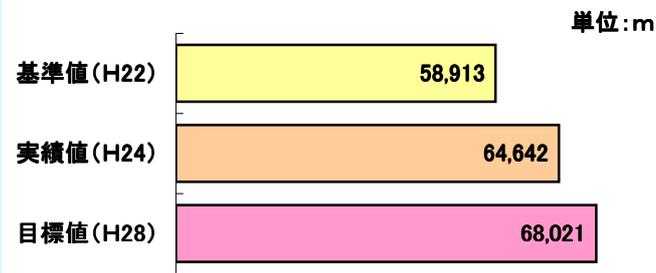
※目標達成！

基本方針④ 力強い産業と仕事づくり

政策1 足腰の強い農林業の推進

農林業生産基盤整備の推進や、認定農業者・集落営農組織など担い手の育成に努め、農業生産の安定のためイノシシの防護策の設置促進や、口蹄疫や鳥インフルエンザ等の防疫対策を推進します。あわせて、農地や農村集落、森林の環境保全に努めます。

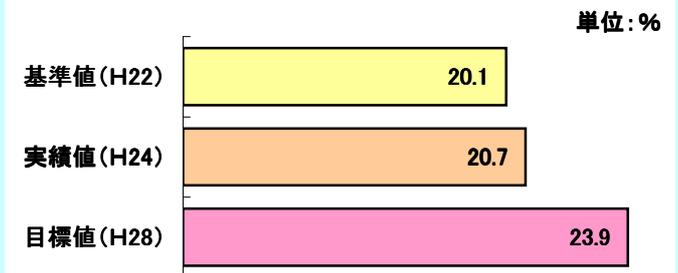
○農道整備延長(幅員が4m以上の農道) (農漁村整備課)



◎説明

県営山田原地区基盤整備事業完了による県からの譲与。
L=4,330m (※H23 60,312m)
(8月1日基準日の農道台帳による。)

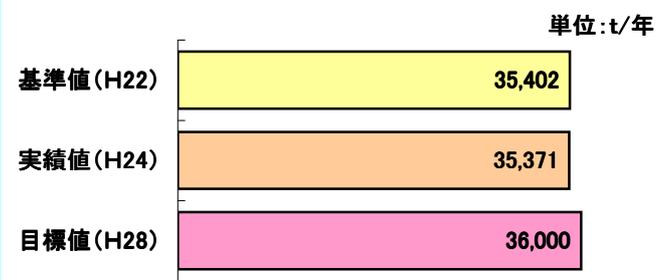
○畑(区画)の整備率 (農漁村整備課)



◎説明

県営八斗木地区農地整備事業整備面積 7.1ha
573.06ha(整備済面積)÷2764ha(畑総面積)×100=20.7%
※H23 整備済面積 565.96ha

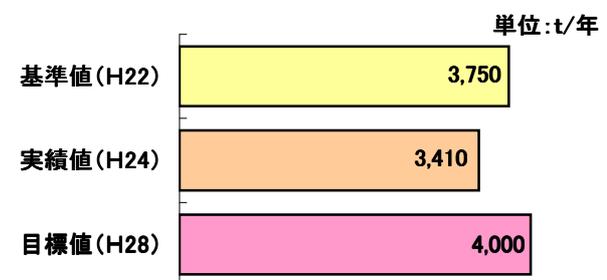
○主要作物産出量(パレイショ) (農林水産課)



◎説明

『馬鈴薯生産流通事情調査』よりH24春作及び秋作の生産量を調査し算出した。
春作、秋作とも収量は安定していたため若干の増加となっているが、作付面積等の減少もあり目標値には達していない状況である。
※H23 35,259 t

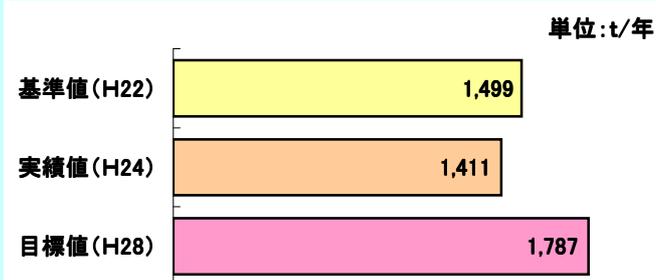
○主要作物産出量(イチゴ) (農林水産課)



◎説明

全農ながさき販売実績等により算出した。冷害を受けたH23年度(3,100t)と比較すると増加しているが、品種転換や作付面積等の減少もあり目標値には達していない状況である。

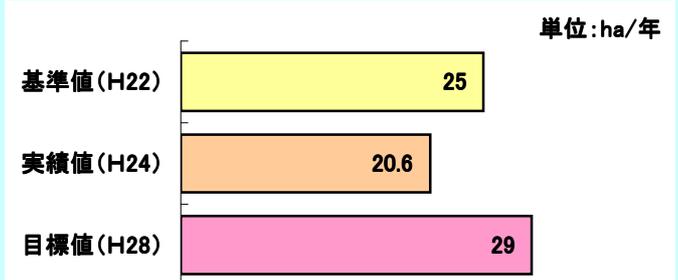
○特用林産物産出量 (農林水産課)



◎説明

市内にある、3施設において菌床栽培による生しいたけの生産を行っており、年間3%増の生産を目標とする。
※平成24年特用林産物生産統計調査実績より
吾妻しいたけ生産組合 640 t
雲仙しいたけ生産組合 729 t
能力開発センター 42 t
合計 1,411 t

○耕作放棄地の解消面積 (農業委員会)



◎説明

市担当部局と連携して耕作放棄地解消を図った。
補助事業解消面積 4.6ha
自主解消等面積 16.0ha

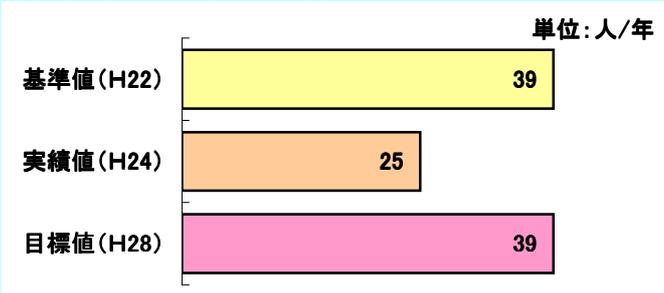
○担い手等への農地集積率（農業委員会）



◎説明

農地の有効利用を促進するため、認定農業者等担い手への農地集積を図るとともに、農地の借受者に対して一部補助を行った。
 $2,468 \text{ ha} \text{ (認定農業者等の経営面積)} \div 4,806 \text{ ha} \text{ (農地面積)} \times 100 = 51.3\%$
 ※農地面積：農林業センサス

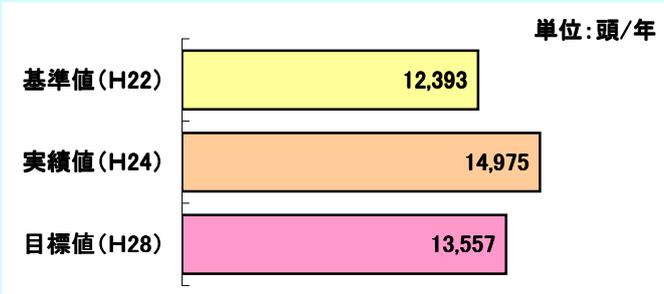
○新規就農者数（農林水産課）



◎説明

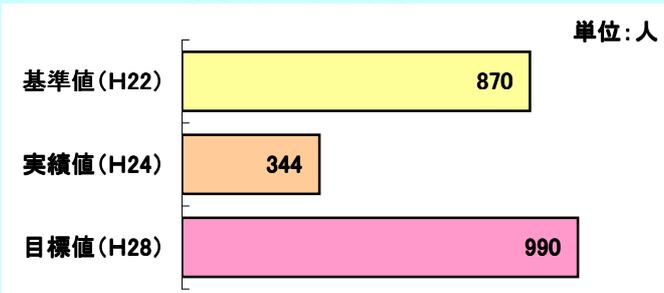
平成24年度新規就農者実態調査による。
 新規就農者数については、その年によって変動があるため、島原振興局及び各総合支所と連携し情報を共有している。
 ※H23 26人

○飼養頭数（肉牛）（農林水産課）

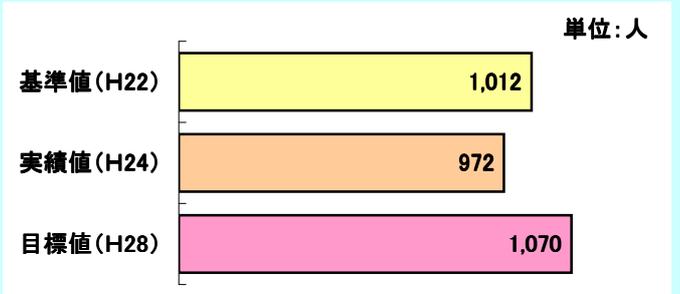


◎説明 **※目標達成！**
 家畜飼養頭羽数調より
 大型の肥育農家が新たに経営を開始されたことにより増頭が図られた。
 ※H23 12,832頭

○エコファーマー認定者数（農林水産課）



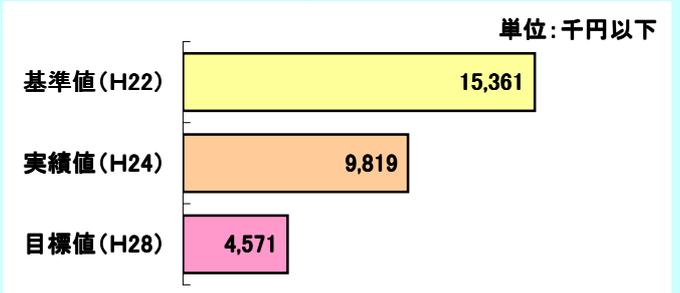
○認定農業者数（農林水産課）



◎説明

高齢や後継者不足の理由により辞退した人がおり減少となった。
 新規認定者 23人
 辞退者・認定切れ者 50人
 （更新予定者206名 更新者156名）
 ※H23 999人

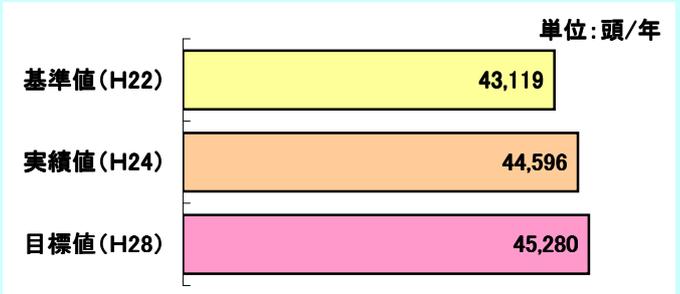
○有害鳥獣による被害額（農林水産課）



◎説明

従来からの鳥獣被害防止総合対策事業に加え鳥獣被害防止施設緊急整備事業も活用し、事業を実施したことや、被害対策研修会及び農業出前講座等の効果が数値に表れたものと推測される。
 ※数値については平成24年度雲仙市有害鳥獣による農作物被害調査結果より（自治回覧による）

○飼養頭数（豚）（農林水産課）



◎説明
 家畜飼養頭羽数調より
 飼養農家数は2戸減少したが、大型の飼養農家が規模拡大を行ったことにより増頭が図られた。
 ※H23 37,758頭

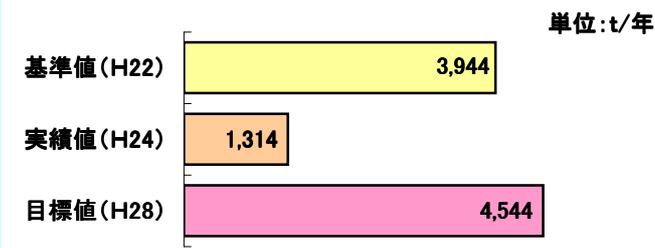
◎説明

認定の更新を行わなかったなどの理由から減少した。
 エコファーマーマークが使用不可となったことが認定者数減少の主な要因。
 新規15名 認定切れ337名
 ※H23 666人

政策2 豊かな水産業の振興

水産資源の維持増大のため、栽培漁業や資源管理型漁業の定着を図るとともに、養殖漁業を推進します。また、漁業担い手の確保のための取り組みを推進します。

○漁獲量（農林水産課）

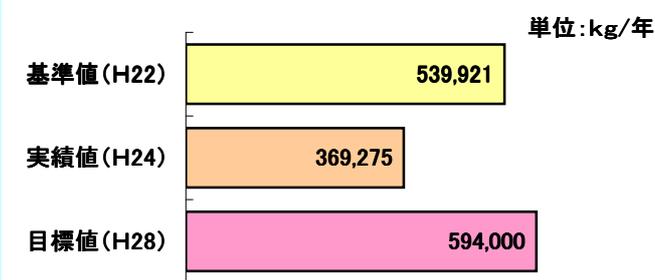


◎説明

環境の変化（貧酸素・高水温等）に伴い、水産資源が減少した為、漁獲量が減少した。
有明漁協多比良支所 11 t、国見漁協 22 t、瑞穂漁協 2 t、橘湾東部漁協 1,279 t 計 1,314 t

○養殖漁業による生産量(ノリを除く)

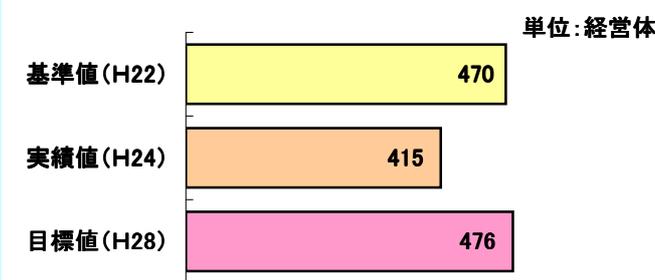
(農林水産課)



◎説明

水温が高めに推移し、生産量が減少した。(H23 417,890kg)
瑞穂漁協 19,324kg、橘湾東部漁協 349,951kg 計 369,275kg

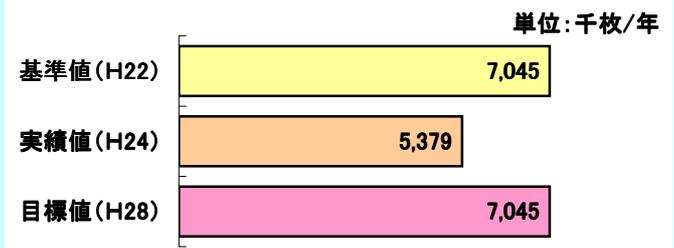
○漁業経営体数（農林水産課）



◎説明

高齢化による脱退等のため、経営体が減少した。
橘湾東部漁協 289、瑞穂漁協 65、国見漁協 44、有明漁協多比良分17 計 415経営体

○養殖漁業による生産量(ノリ)（農林水産課）



◎説明

芽流れが発生したが早期に回復し、概ね良好に生育し、生産量が増加した。(H23 4,539千枚)
瑞穂漁協 1,194千枚、国見漁協 3,183千枚、有明漁協多比良分1,002千枚 計 5,379千枚

○漁業担い手確保推進事業による新規漁業就業者数

(農林水産課)



◎説明

H19年度から取組み。
H24年度は新規0人、継続1人であった。

◎説明

高齢化による脱退等のため、経営体が減少した。
橘湾東部漁協 289、瑞穂漁協 65、国見漁協 44、有明漁協多比良分17 計 415経営体

政策3 魅力ある商工業の振興

商店街が自発的に取り組む活性化に向けた活動支援や、地域資源を活かした新商品・新サービスの開発等を推進します。また、金融支援策等により経営基盤の安定化を図ります。

○商工会ホームページで情報提供する商店等の数

(商工労政課)



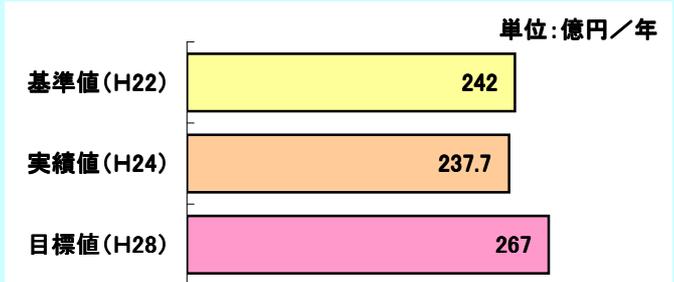
◎説明

雲仙市商工会が運営するホームページ「雲仙まるごとネット」に登録している商工会委員、団体等の数

※目標達成!

○市内製造品出荷額等(従業者4人以上の事業所)

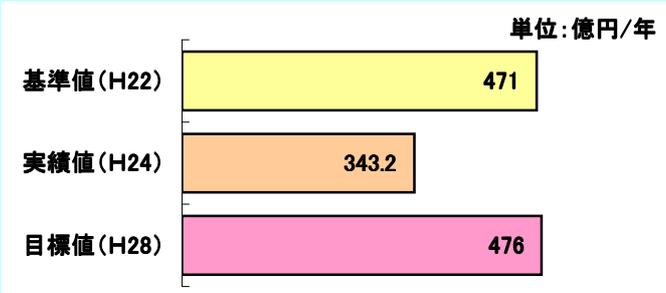
(商工労政課)



◎説明

製造品出荷額 191.0億円
加工費収入額 30.0億円
その他の収入額 16.7億円
※H24経済センサス(24年2月1日調査)

○市内年間商品販売額（商工労政課）



◎説明
卸売業 117.0億円
小売業 226.2億円
※H24経済センサス（24年2月1日調査）

政策4 雲仙ブランドの確立

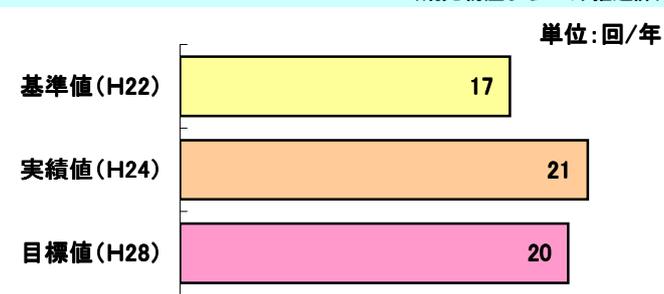
雲仙ブランドの確立と更なる浸透を図るため、安定した生産基盤の確立や、高付加価値型農業への取り組みを推進します。また、アンテナショップ等を活用し、大都市圏の消費者へのPRや販路拡大への取り組みを推進します。

○首都圏スーパー等での「雲仙市特産品販売コーナー」の設置店舗数（観光物産まちづくり推進課）



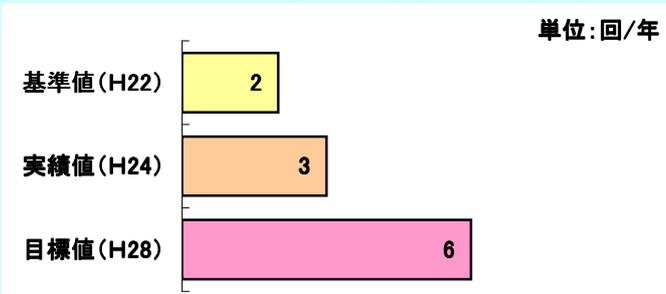
◎説明 ※目標達成！
夢彩都（野菜）＋ジョイフルサン（野菜）＋九州のムラ（農産加工品）＋パイオパーク（菓子類）＋まるたか（野菜）＋阪急オアシス（鮮魚）＝6店舗

○市外での雲仙市物産フェアの開催数（観光物産まちづくり推進課）



◎説明 ※目標達成！
長崎県内12回（夢彩都ほか）、福岡市6回（博多阪急ほか）、関東圏1回（東京都庁）、北海道1回（網走市）、鹿児島県1回（霧島市）でのフェアを開催・参加した。

○アンテナショップ「キトラス」における商談回数（観光物産まちづくり推進課）

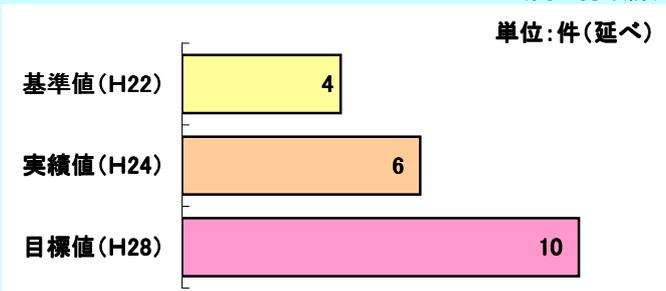


◎説明
平成24年4月（2社）、平成24年8月（1社）、25年3月（25社）の3回商談を実施。

政策5 地場産業振興と企業誘致による雇用の創出

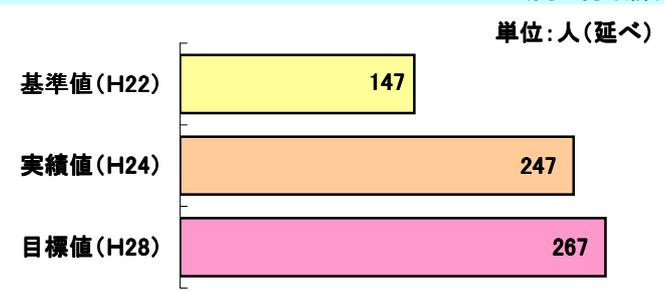
資金貸付制度等を活用し、地場産業の育成や規模拡大に努め、関係機関との連携や、本市独自の優遇制度を活用した企業誘致を推進します。また、地元での就職を促進するため、就職情報の提供や就職相談を強化します。

○雲仙市における企業誘致及び増設件数(合併からの累計件数)（商工労政課）



◎説明
H19年1件、H20年1件、H21年1件、H22年1件、H23年度2件、H24年度0件

○企業誘致等に伴う新規雇用創出数(合併からの累計件数)（商工労政課）



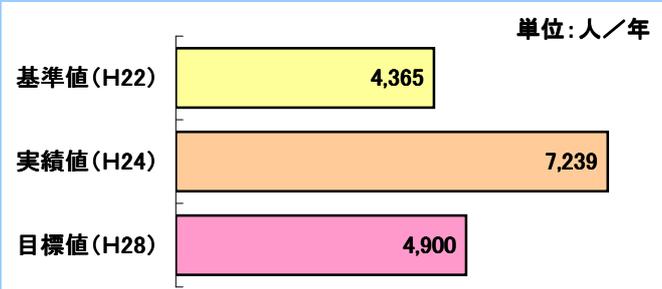
◎説明
H19年度誘致事業において35人、H20年度16人、H21年度57人、H22年度39人、H23年度69人、H24年度31人が、それぞれ雇用された。
○H24 31人【三貴工業(株) 8人、(株)ババ商店 6人、(株)ユーコーエステート 8人、(株)ミカド観光センター 3人、(株)雲仙湯けむりファーム 6人】

基本方針⑤ 新しい観光・交流による活力づくり

政策1 地域資源を活かした観光の振興

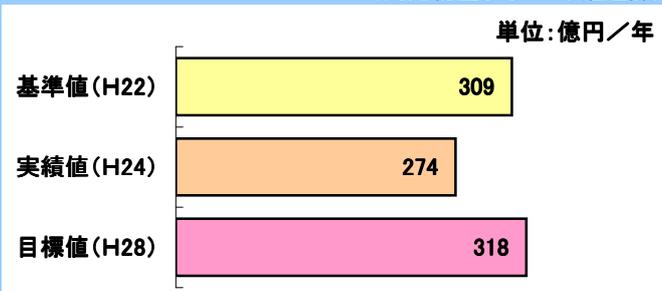
本市の豊富な地域資源を活かした体験プログラムを充実させるとともに、ガイドやインストラクターの育成によるおもてなし力の向上を図るなど、魅力的な観光地づくりを推進します。また、効果的な情報発信を行うとともに、修学旅行客や外国人観光客の誘客に取り組みます。

○体験型観光の参加者数（観光物産まちづくり推進課）



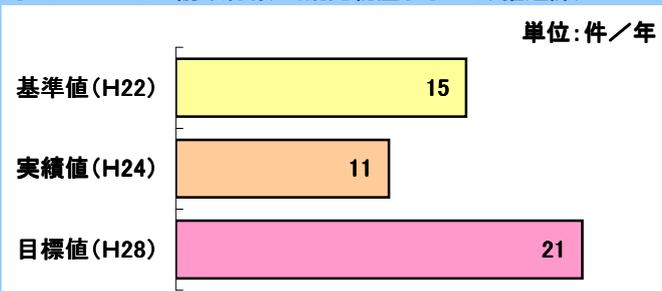
◎説明 **※目標達成！**
震災の影響による振替が落ち着き、平常時に戻ったことによる減。
※H23 8,512人

○観光消費額(観光による経済波及効果) (観光物産まちづくり推進課)

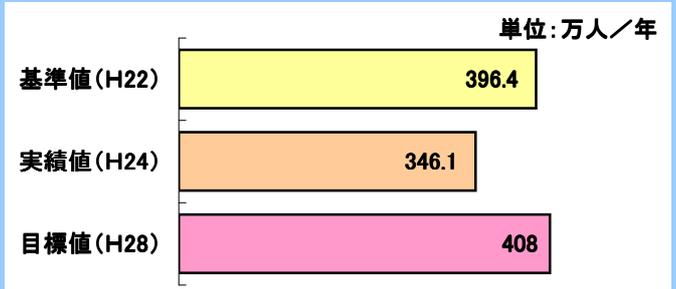


◎説明
日帰り観光客数は増加したが、消費額単価の高い宿泊客延滞在数が減少したことで、横ばいとなった。
※H23 274億円

○コンベンション誘致件数（観光物産まちづくり推進課）

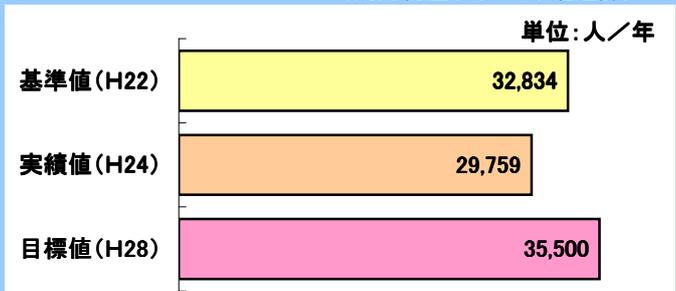


○観光客数（観光物産まちづくり推進課）



◎説明
宿泊客延滞在数については、一昨年(2023年)の東日本大震災の影響からの回復があったものの、福岡や関西からの修学旅行生の減少や一般観光客の旅行先が関東・東北方面にシフトしたことにより、減となった。日帰り観光客については、雲仙普賢岳新登山道の開通などにより増となり、全体としては増となった。 ※H23 345.3万人

○修学旅行宿泊者数 (観光物産まちづくり推進課)



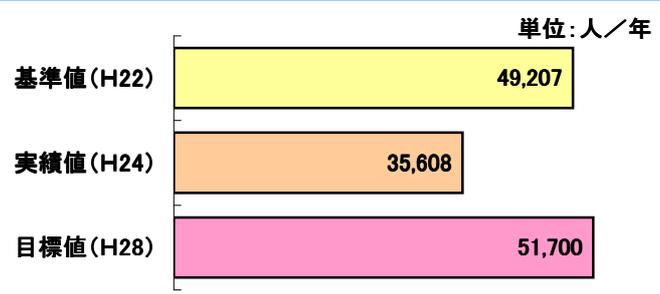
◎説明
福岡県を中心とした小学校の修学旅行が27%減、東日本大震災からシフトしていた関西方面からの中学校修学旅行が13%減となったことが大きく影響した。
※H23 33,114人

◎説明
大口のコンベンションにより延宿泊者数は大幅に増えたものの、件数としては、既存のコンベンションが開催されなかったこともあり減少した。
※H23 13件

政策2 地域間交流の推進

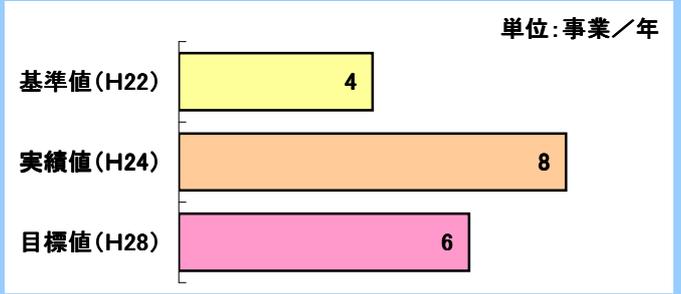
プロスポーツチーム等の合宿やスポーツ大会関連事業の誘致に取り組むとともに、スポーツ大会や産業まつり等の交流イベントによる交流促進に取り組みます。また、国内・国際交流を推進し、交流活動の活性化に取り組みます。

○市内公共施設を活用したスポーツ交流や合宿人数 (生涯学習課)



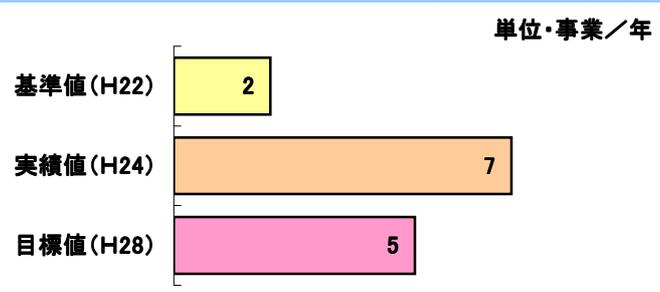
◎説明
雲仙市内公共施設を活用したイベントなどを実施し、前年比(H23 23,998人)においては増となったが、目標には達しなかった。
【遊学の館】 合宿等 3,943人 イベント 17,280人
【すこやかランド】 合宿等 2,579人 イベント 11,806人

○姉妹都市等による国内・国外交流事業数 (観光物産まちづくり推進課)



◎説明 **※目標達成!**
観光姉妹都市交流バスツアー、天正遣欧少年使節国内交流事業、雲仙市中学生派遣事業、求礼郡中学生招聘事業、市民団体派遣事業(2回)、求礼郡民間団体招聘事業、求礼郡との5周年記念事業

○国際交流関係事業数 (観光物産まちづくり推進課)



◎説明
国際交流員を活用した広報紙掲載事業、国際理解講座開催事業(幼稚園、保育園等訪問)、異文化理解講座開催事業(韓国)、異文化理解講座開催事業(中国)、3カ国体験イベント事業、留学生連携事業、市民連携国際交流事業

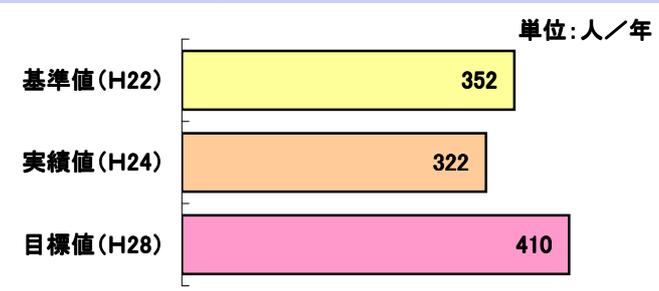
※目標達成!

基本方針⑥ 明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり

政策1 健やかな子育て対策

子育てを支援する拠点づくりに取り組むとともに、市民が仕事と育児を両立し、安心して働くことのできる環境づくりに努めます。また、子どもを安心して生み育てられるよう支援するとともに、市民参加による子育て支援に努め、子どもたちが健やかに育つための環境づくりに取り組みます。

○学童保育利用登録者数（子ども支援課）



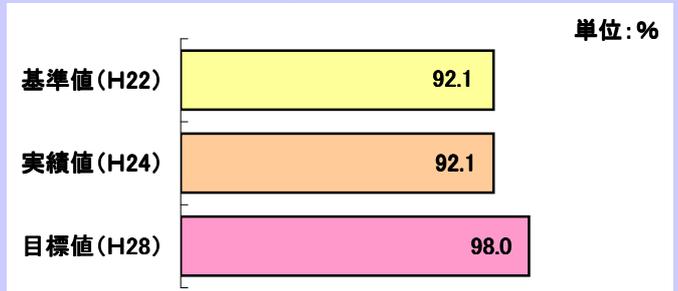
◎説明

平成24年度は、利用登録者は322人で、基準年度（H22年度）比、△30人（△8.5%）の減となったが、夫婦共働き世帯や利用ニーズは高いと思われる。また、今年度から登録児童数の捉え方の見直しを行い、減となったが、利用登録者は増えていくものと考えられる。

■市内児童クラブ（9クラブ）

・サンサンクラブ42人 ・おおぞら児童クラブ21人 ・ピーターパンクラブ23人 ・学童ハッピークラブ38人 ・なかよしクラブ23人
・コスモスクラブ93人 ・マウントクラブ29人 ・学童保育小浜クラブ35人 ・ひまわりクラブ18人

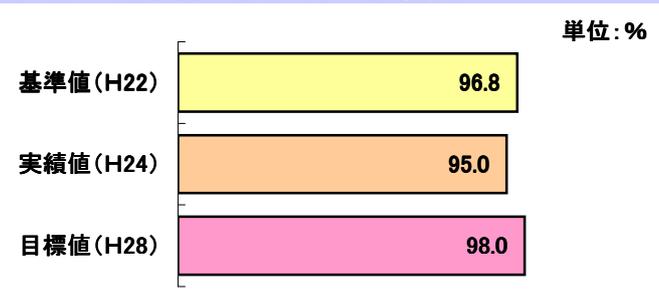
○3-4か月児赤ちゃん健康相談受診率（子ども支援課）



◎説明

平成24年度は、対象者341人に対して受診者が314人で92.1%であった。個別通知や母子保健推進員による声かけにより、90%以上の受診率を保っている。未受診者には、訪問および電話等で状況を確認し、対応している。未受診の理由としては里帰り、体調不良（入院中）、保護者の都合等であった。

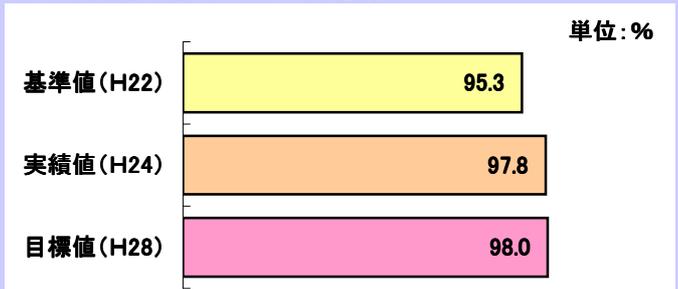
○1歳6か月児健診受診率（子ども支援課）



◎説明

平成24年度の受診率は、対象者343人に対して受診者が326人で95.0%と、前年度の99.5%を4.5%下回る結果であった。未受診者への対応として、保育園、自宅訪問および電話等で連絡をとって状況を聞いたり、受診勧奨を行っている。今後も引き続き、受診率向上を目指し対応していきたい。

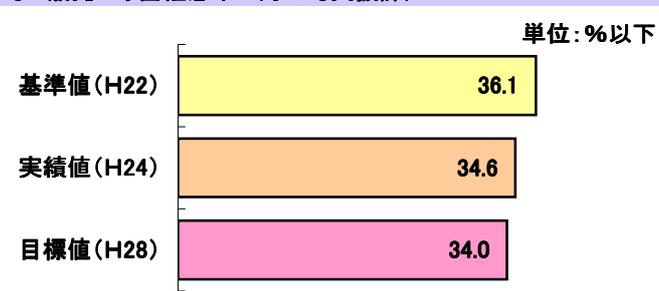
○3歳児健診受診率（子ども支援課）



◎説明

平成24年度の受診率は、対象者402人に対し、受診者が393人で97.8%であり、目標値の98%に近づいている。未受診者への対応として、保育園、自宅訪問および電話等で連絡をとって状況を聞いたり、受診勧奨を行っている。今後も引き続き、受診率向上を目指し対応していきたい。

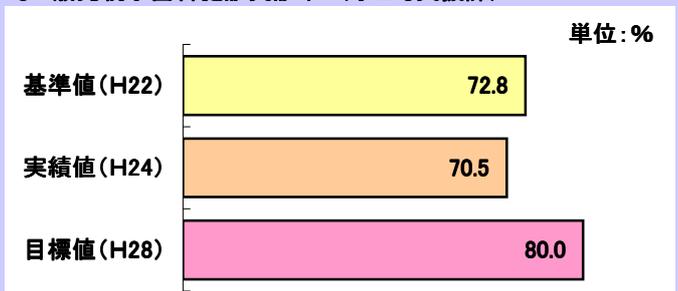
○3歳児のう歯罹患率（子ども支援課）



◎説明

平成24年度は受診者393人のうち、う歯がない人は257人、う歯がある人が136人でう歯罹患率は、34.6%と前年度（37.5%）より2.9%減少し、目標値の34%以下に近づいている。今後も歯科保健事業の推進により、う歯罹患率の減少を目指していきたい。

○2歳児親子歯科健診受診率（子ども支援課）



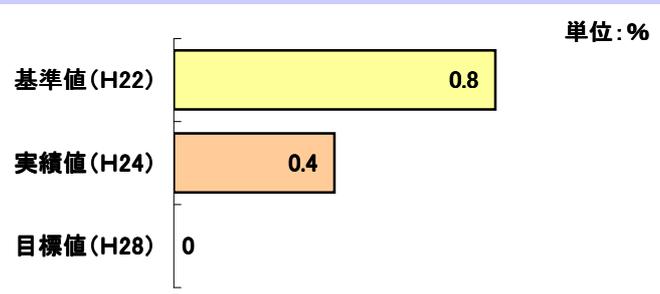
◎説明

平成24年度は、対象者366人に対して受診者が258人で受診率は70.5%であった。

政策2 教育環境の充実

家庭・地域・学校が一体となった教育環境づくりに取り組みます。また、校舎等の計画的な改修・耐震化を進めるとともに、給食センターの適切な管理など、安全・安心の教育環境づくりを進めます。

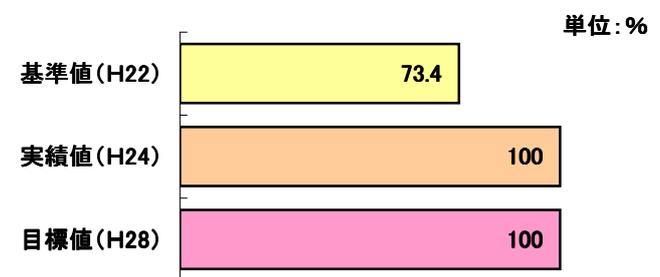
○不登校児童生徒率（学校教育課）



◎説明

連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒のうち「不登校」を理由とする者を計上。不登校児童生徒数16名。在籍児童生徒総数3,769名。

○小中学校施設の耐震改修率（教育委員会 総務課）



◎説明

94棟（耐震化実施棟数累計）/94棟（耐震化実施全棟数）×100
H24年度実績 10棟

【内訳】愛野小学校（校舎1棟）・北串小学校（校舎2棟）・瑞穂中学校（校舎1棟）・雲仙小学校（体育館1棟）・大正小学校（体育館1棟）・大塚小学校（体育館1棟）・富津小学校（体育館1棟）・千々石中学校（体育館1棟）・神代小学校（体育館1棟・危険改築）の耐震補強工事を実施した。

○小中学校における外国語指導助手（ALT）派遣回数（学校教育課）



◎説明

小学校（5・6年生）および中学校におけるALTの派遣回数。
【平成24年度実績 5日×35週×6名=1,050回】

◎説明

94棟（耐震化実施棟数累計）/94棟（耐震化実施全棟数）×100
H24年度実績 10棟

【内訳】愛野小学校（校舎1棟）・北串小学校（校舎2棟）・瑞穂中学校（校舎1棟）・雲仙小学校（体育館1棟）・大正小学校（体育館1棟）・大塚小学校（体育館1棟）・富津小学校（体育館1棟）・千々石中学校（体育館1棟）・神代小学校（体育館1棟・危険改築）の耐震補強工事を実施した。

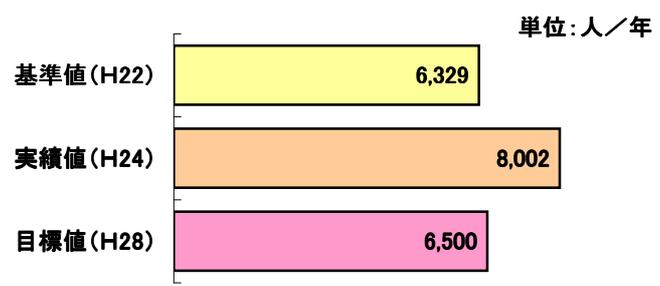
※目標達成！

※目標達成！

政策3 生涯学習の推進

地域や学校と連携した地域ぐるみの育成活動や、読書活動の推進により、青少年の豊かな心を育むなど健全育成に努めます。また、市民の多様な生涯学習ニーズに応える体制づくりや教育環境の整備を進め、生涯学習社会の構築と、豊かな芸術・文化あふれる地域づくりを推進します。

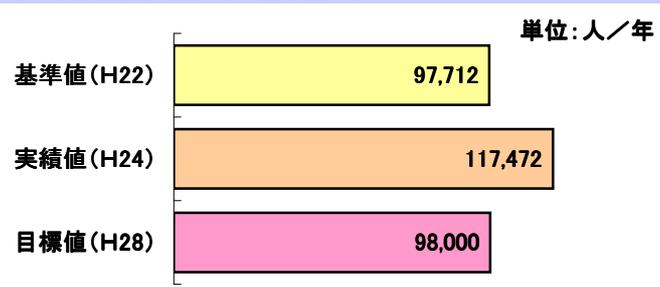
○地域での体験活動等の参加者数（生涯学習課）



◎説明

子供向けの体験型の講座を122回開催し、参加者は3,513人、放課後子ども教室は458回開催され、延べ参加者は4,489人

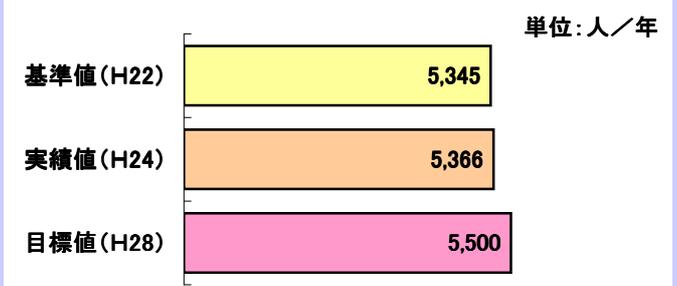
○公民館利用者数（生涯学習課）



◎説明

H24実績（公民館利用者数）
瑞穂町公民館20,710人
愛野町公民館53,527人
千々石町公民館15,749人
南本町公民館（小浜）27,486人

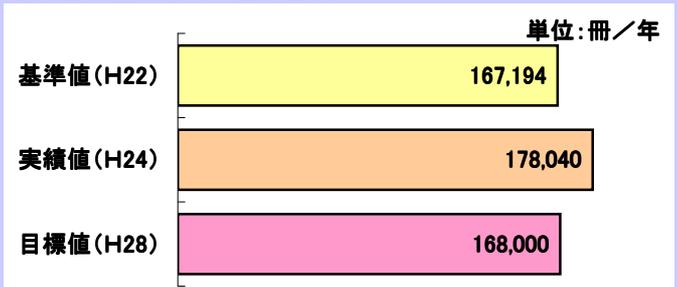
○生涯学習講座等受講者数（生涯学習課）



◎説明

生涯学習講座 79講座 2,644人
公民館講座 63講座 2,722人の参加者数となった

○図書貸出冊数（生涯学習課）



◎説明

H24実績（図書館要覧抜粋）
雲仙市図書館81,733冊、瑞穂図書室7,975冊
吾妻図書室12,666冊、愛野図書室9,357冊
千々石図書室10,979冊、小浜図書室20,347冊
南串山図書室4,436冊、移動図書室30,547冊

※目標達成！

※目標達成！

※目標達成！

※目標達成！

○雲仙市図書館利用者数（生涯学習課）



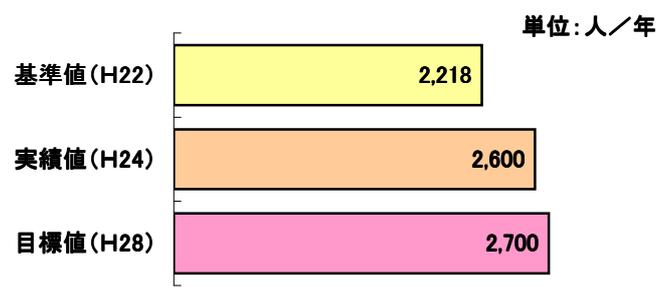
◎説明
H24実績
図書館利用者数 16,300人

※目標達成！

政策4 生涯スポーツの振興

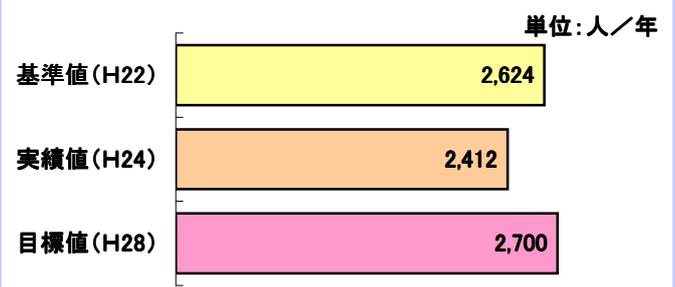
市民の年齢や適正に応じたスポーツを奨励し、健康なからだづくりや、市民交流を推進します。また、施設の機能強化や利用機会の均等化を図るため、施設の改修・再編や管理体制の見直しに努めます。

○スポーツ教室参加者数（生涯学習課）



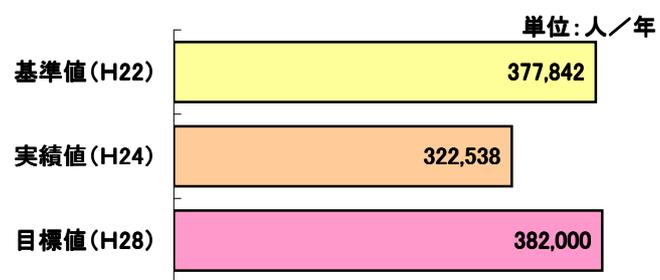
◎説明
健康づくりのための教室では、体力年齢が分かる体力年齢測定会を開催し日々の運動及びトレーニングの必要性の啓発を図るとともに、継続的に運動又はトレーニングを行うきっかけづくりとして、シェイプアップスクール・アヅマクロスの講習などを開催した。
・体力年齢測定会（54人） ・シェイプアップスクール（1,389名）
・ナイトシェイプアップ（49名） ・アクアビクススクール（142人）
・スポーツ医学講習会（424人） ・雲仙アヅマクロス講習会（542人）

○雲仙市民スポーツ大会出場競技者数（生涯学習課）



◎説明
雲仙市体育協会の協力のもと、競技人口の拡大、育成を行ったが、出場チーム・構成員数ともに伸び悩みの状況で、目標に達しなかった。

○スポーツ施設の利用者数（生涯学習課）

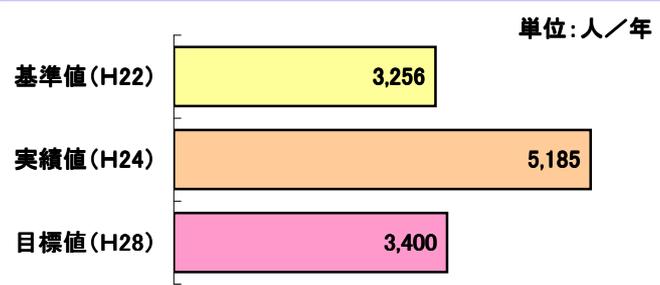


◎説明
屋内施設の利用回数・人員が減少傾向にあり、前年比で約27,000人の減となった。
主な減少施設は吾妻体育館で、大会数の減少のほか、継続的に使用する団体の構成員減が要因となっている。

政策5 芸術・文化活動の推進

芸術文化鑑賞等の機会を提供しつつ、市民の芸術・文化活動の推進と発表の場の提供を行うことで、市民の豊かな人格形成と新たな地域文化の創造を目指します。また、文化施設の適正な管理や、利用促進のための情報発信を強化します。

○芸術文化公演や美術展への来場者数（生涯学習課）



◎説明
文化イベントへの参加者数
市内3ホール等を幅広く使用し、市民参加型コンサートやミュージカルを計画。市民へのアンケート等も行い、より市民の希望にそった公演の実施に取り組み、鼓童ワンアーツツアー2012伝説、NHK公開録音～民謡をたずねて～ほか実施した。

※目標達成！

○文化施設の利用者数（生涯学習課）



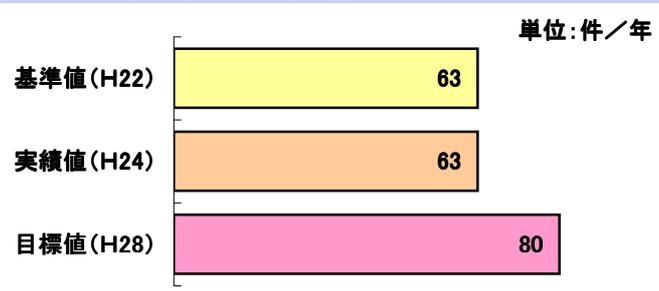
◎説明
H24実績簿より各施設の年間利用者数
国見町文化会館13,925人、吾妻町ふるさと会館55,624人、ハマユリックスホール24,681人

※目標達成！

政策6 歴史・文化を活かしたまちづくり

各種開発事業に伴い、市内遺跡・埋蔵文化財等の調査・保存を進めます。また、伝統的建造物の保全整備や、伝統芸能の保存、生活習慣、食文化等の継承を推進するとともに、文化財保存に対する意識啓発や活動の支援を行います。

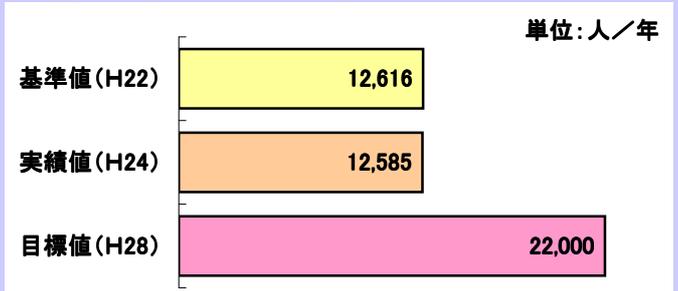
○文化財の指定数（生涯学習課）



◎説明

指定文化財の再調査を実施するとともに、指定基準の見直しを行ない文化財指定の準備を進めてきたが、指定にあたって精査を行なう必要があり24年度の指定には至らなかった。

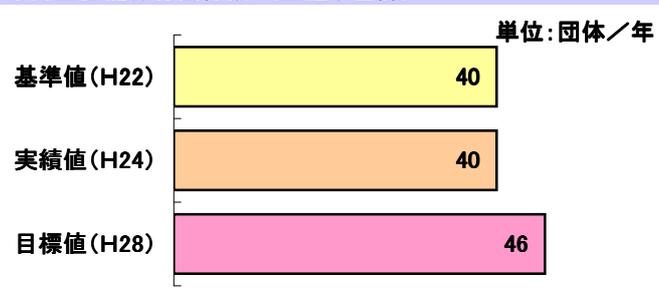
○鍋島邸入場者数（生涯学習課）



◎説明

前年比5,333人増（H23年度7,252人）
鍋島邸長屋門の修理完成に伴う供用開始の効果もあり入場者が増加した。
実行委員会主催による「緋寒桜の郷まつり」が開催され盛会であったことも入場者増につながった。

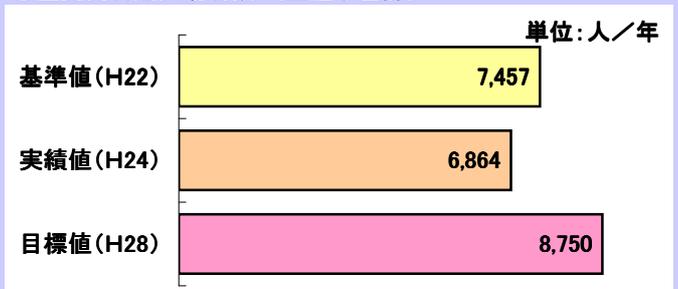
○郷土芸能保存団体数（生涯学習課）



◎説明

第1次産業を基盤とした生業と係り合って伝承された郷土芸能が多く、新規の保存組織立ち上げには時間を要する。歴史を題材とした郷土芸能創出の動きがあるので支援を行なう予定である。

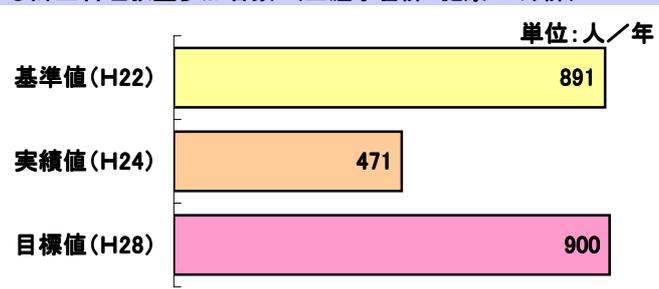
○歴史資料館入場者数（生涯学習課）



◎説明

南串山展示館 291名
小浜歴史資料館 3,682名
国見展示館 2,891名
国見展示館は緋寒桜の郷まつりと連携した企画展効果もあり入場者数が増加した。
※H23 6,784名

○郷土料理教室参加者数（生涯学習課・健康づくり課）



◎説明

公民館講座や食生活改善推進員による男のための料理教室や、地元の食材を利用した郷土料理教室など29講座を開催した。

雲仙市総合計画成果 数値目標 進捗状況 一覧

	基本方針	指標	基準値(H22・23)	実績値(H24)	進捗度	目標値(H28)	達成	単位	担当課
1	みんなでつくるまちづくり	地域づくり活動団体数	61	86	122.9%	70	達成	団体	市民窓口課
2	みんなでつくるまちづくり	NPO数およびボランティア活動センター登録団体数	27	10	20.0%	50		団体	市民窓口課
3	みんなでつくるまちづくり	ふるさと産業まつり等への参加者数	24,070	35,765	105.2%	34,000	達成	人/年	観光物産まちづくり推進課・市民窓口課
4	みんなでつくるまちづくり	移動市長室等開催数	4	6	100.0%	6	達成	回/年	政策企画課
5	みんなでつくるまちづくり	市審議会等における女性委員登用率	23.4	21.8	68.8%	31.7		%	政策企画課
6	みんなでつくるまちづくり	人権啓発の普及活動実施数	8	5	62.5%	8		回/年	市民窓口課 生涯学習課
7	みんなでつくるまちづくり	人権相談所(よろず相談所・特設人権相談所)開設数	24	24	100.0%	24	達成	回/年	市民窓口課
8	みんなでつくるまちづくり	市ホームページアクセス件数	473,911	520,099	101.8%	511,000	達成	件/年	政策企画課
9	みんなでつくるまちづくり	市職員数(一般職)	416	405	86.4%	350		人	行革推進室
10	みんなでつくるまちづくり	指定管理者制度の導入施設数	18	13	61.9%	21		施設	行革推進室
11	みんなでつくるまちづくり	市職員研修参加率(一般職)	159.0	233.7	126.3%	185.0	達成	%	人事課
12	みんなでつくるまちづくり	市税の収納率	86.0	84.8	92.5%	91.7		%	収納推進課
13	みんなでつくるまちづくり	公共用地のうち登記可能な未登記物件の登記率	42.4	50.6	50.6%	100		%	用地課
14	みんなでつくるまちづくり	実質公債費比率	13.7	11.1	101.8%	11.3	達成	%以下	財政課
15	みんなでつくるまちづくり	経常収支比率	89.8	82.5	107.4%	88.6	達成	%以下	財政課
16	みんなでつくるまちづくり	義務的経費を除く歳出額	155.11	135.99	91.8%	124.86		億円/年	財政課
17	快適で住みよい暮らしづくり	水洗化率	42.2	46.0	77.1%	59.7		%	下水道課
18	快適で住みよい暮らしづくり	水道有収率	76.9	75.4	94.3%	80.0		%	水道課
19	快適で住みよい暮らしづくり	水道管耐震化率	4.4	6.1	65.6%	9.3		%	水道課
20	快適で住みよい暮らしづくり	定住相談窓口への相談者のうち市内への定住者数(合併からの累計者数)	10	10	33.3%	30		人(延べ)	政策企画課
21	快適で住みよい暮らしづくり	急傾斜地崩壊対策施設整備率	22.6	22.6	93.8%	24.1		%	道路河川課
22	快適で住みよい暮らしづくり	防火水槽の設置数(20t以上)	520	522	97.6%	535		基	市民安全課
23	快適で住みよい暮らしづくり	交通事故による死傷者数	394	413	84.7%	350		人以下	市民安全課
24	快適で住みよい暮らしづくり	狂犬病予防注射接種率(登録犬への注射実施件数)	66.9	68.7	98.1%	70.0		%	環境政策課
25	快適で住みよい暮らしづくり	市道改良率	33.2	33.8	95.5%	35.4		%	監理課 道路河川課
26	快適で住みよい暮らしづくり	幹線道路網整備延長割合(1,2級市道改良済み延長割合)	64.0	64.8	95.9%	67.6		%	監理課
27	快適で住みよい暮らしづくり	バス停上屋整備率	38.0	39.5	94.0%	42.0		%	市民窓口課
28	快適で住みよい暮らしづくり	1便当たり利用者数(乗合タクシー運行路線利用者数)	5	4.5	90.0%	5		人/便	市民窓口課
29	快適で住みよい暮らしづくり	学校教育支援システム(インターネット・TV会議)利用授業回数	2	1.5	75.0%	2		回/週・学級	学校教育課
30	快適で住みよい暮らしづくり	保安林面積	988.05	994.29	97.0%	1,025.00		ha	農林水産課
31	快適で住みよい暮らしづくり	1人1日あたりのごみ排出量	815	847	86.0%	728		g/人・日以下	環境政策課
32	快適で住みよい暮らしづくり	ごみの再資源化率	19.1	15.0	62.5%	24.0		%/年	環境政策課
33	快適で住みよい暮らしづくり	太陽光発電の普及率	3.4	6.0	89.6%	6.7		%	環境政策課
34	笑顔いっぱい健康と福祉づくり	特定健康診査受診率	40.0	44.0	75.9%	58.0		%	市民窓口課 健康づくり課
35	笑顔いっぱい健康と福祉づくり	特定保健指導実施率	59.2	54.0	90.0%	60.0		%	市民窓口課 健康づくり課
36	笑顔いっぱい健康と福祉づくり	地域福祉連合会設置数	0	7	100.0%	7	達成	組織	福祉課
37	笑顔いっぱい健康と福祉づくり	胃がん検診受診率	15.7	14.4	48.0%	30.0		%	健康づくり課
38	笑顔いっぱい健康と福祉づくり	肺がん検診受診率	36.8	39.2	78.4%	50.0		%	健康づくり課
39	笑顔いっぱい健康と福祉づくり	若年者健診受診者数	119	275	43.0%	640		人/年	健康づくり課
40	笑顔いっぱい健康と福祉づくり	歯周病予防健診受診者数	103	178	80.9%	220		人/年	健康づくり課
41	笑顔いっぱい健康と福祉づくり	公共施設へのAEDの設置数	50	50	96.2%	52		箇所	健康づくり課
42	笑顔いっぱい健康と福祉づくり	食生活改善推進事業の生活習慣病予防事業への参加者数	4,166	3,355	34.9%	9,600		人/年	健康づくり課
43	笑顔いっぱい健康と福祉づくり	朝食を食べない人の割合(男性)	9.3	9.2	71.7%	6.6		%以下	健康づくり課
44	笑顔いっぱい健康と福祉づくり	朝食を食べない人の割合(女性)	5.3	5.4	88.9%	4.8		%以下	健康づくり課
45	笑顔いっぱい健康と福祉づくり	シルバー人材センターの登録会員数	175	180	60.0%	300		人	福祉課
46	笑顔いっぱい健康と福祉づくり	介護予防教室への参加者数	15,635	14,100	81.0%	17,400		人/年	福祉課
47	笑顔いっぱい健康と福祉づくり	自主的な介護予防グループ数	5	20	100.0%	20	達成	グループ	福祉課
48	笑顔いっぱい健康と福祉づくり	緊急通報システムを必要とするひとり暮らし世帯の利用台数	308	327	53.8%	608		台	福祉課
49	笑顔いっぱい健康と福祉づくり	高齢者の見守りネットワーク協力団体数	新規	24	24.0%	100		グループ	福祉課
50	笑顔いっぱい健康と福祉づくり	手話奉仕員養成講座受講者数	11	12	70.6%	17		人	福祉課
51	笑顔いっぱい健康と福祉づくり	障害者就業・生活支援センター支援による就業者数	40	11	19.0%	58		人/年	福祉課
52	笑顔いっぱい健康と福祉づくり	稼働年齢層への就労支援による就労率	56.0	65.6	109.3%	60.0	達成	%	保護課
53	力強い産業と仕事づくり	農道整備延長(幅員が4m以上の農道)	58,913	64,642	95.0%	68,021		m	農漁村整備課
54	力強い産業と仕事づくり	畑(区画)の整備率	20.1	20.7	86.6%	23.9		%	農漁村整備課
55	力強い産業と仕事づくり	主要作物産出量(パレイショ)	35,402	35,371	98.3%	36,000		t/年	農林水産課
56	力強い産業と仕事づくり	主要作物産出量(イチゴ)	3,750	3,410	85.3%	4,000		t/年	農林水産課
57	力強い産業と仕事づくり	特用林産物産出量	1,499	1,411	79.0%	1,787		t/年	農林水産課
58	力強い産業と仕事づくり	耕作放棄地の解消面積	25	20.6	71.0%	29		ha/年	農業委員会
59	力強い産業と仕事づくり	担い手等への農地集積率	51.0	51.3	90.0%	57.0		%/年	農業委員会
60	力強い産業と仕事づくり	認定農業者数	1,012	972	90.8%	1,070		人	農林水産課

雲仙市総合計画成果 数値目標 進捗状況 一覧

	基本方針	指標	基準値(H22・23)	実績値(H24)	進捗度	目標値(H28)	達成	単位	担当課
61	力強い産業と仕事づくり	新規就農者数	39	25	64.1%	39		人/年	農林水産課
62	力強い産業と仕事づくり	有害鳥獣による被害額	15,361	9,819	46.6%	4,571		千円以下	農林水産課
63	力強い産業と仕事づくり	飼養頭数(肉牛)	12,393	14,975	110.5%	13,557	達成	頭/年	農林水産課
64	力強い産業と仕事づくり	飼養頭数(豚)	43,119	44,596	98.5%	45,280		頭/年	農林水産課
65	力強い産業と仕事づくり	エコファーマー認定者数	870	344	34.7%	990		人	農林水産課
66	力強い産業と仕事づくり	漁獲量	3,944	1,314	28.9%	4,544		t/年	農林水産課
67	力強い産業と仕事づくり	養殖漁業による生産量(ノリ)	7,045	5,379	76.4%	7,045		千枚/年	農林水産課
68	力強い産業と仕事づくり	養殖漁業による生産量(ノリを除く)	539,921	369,275	62.2%	594,000		kg/年	農林水産課
69	力強い産業と仕事づくり	漁業担い手確保推進事業による新規漁業就業者数	2	0	0.0%	2		人/年	農林水産課
70	力強い産業と仕事づくり	漁業経営体数	470	415	87.2%	476		経営体	農林水産課
71	力強い産業と仕事づくり	商工会ホームページで情報提供する商店等の数	664	677	102.0%	664	達成	店舗(ID)	商工労政課
72	力強い産業と仕事づくり	市内製造品出荷額等(従業者4人以上の事業所)	242	237.7	89.0%	267		億円/年	商工労政課
73	力強い産業と仕事づくり	市内年間商品販売額	471	343.2	72.1%	476		億円/年	商工労政課
74	力強い産業と仕事づくり	首都圏スーパー等での「雲仙市特産品販売コーナー」の設置店舗数	4	6	100.0%	6	達成	店舗	観光物産まちづくり推進課
75	力強い産業と仕事づくり	市外での雲仙市物産フェアの開催数	17	21	105.0%	20	達成	回/年	観光物産まちづくり推進課
76	力強い産業と仕事づくり	アンテナショップ「キトラス」における商談回数	2	3	50.0%	6		回/年	観光物産まちづくり推進課
77	力強い産業と仕事づくり	雲仙市における企業誘致及び増設件数(合併からの累計件数)	4	6	60.0%	10		件(延べ)	商工労政課
78	力強い産業と仕事づくり	企業誘致等に伴う新規雇用創出数(合併からの累計件数)	147	247	92.5%	267		人(延べ)	商工労政課
79	新しい観光・交流による活カづくり	体験型観光の参加者数	4,365	7,239	147.7%	4,900	達成	人/年	観光物産まちづくり推進課
80	新しい観光・交流による活カづくり	観光客数	396.4	346.1	84.8%	408		万人/年	観光物産まちづくり推進課
81	新しい観光・交流による活カづくり	観光消費額(観光による経済波及効果)	309	274	86.2%	318		億円/年	観光物産まちづくり推進課
82	新しい観光・交流による活カづくり	修学旅行宿泊者数	32,834	29,759	83.8%	35,500		人/年	観光物産まちづくり推進課
83	新しい観光・交流による活カづくり	コンベンション誘致件数	15	11	52.4%	21		件/年	観光物産まちづくり推進課
84	新しい観光・交流による活カづくり	市内公共施設を活用したスポーツ交流や合宿人数	49,207	35,608	68.9%	51,700		人/年	生涯学習課
85	新しい観光・交流による活カづくり	姉妹都市等による国内・国外交流事業数	4	8	133.3%	6	達成	事業/年	観光物産まちづくり推進課
86	新しい観光・交流による活カづくり	国際交流関係事業数	2	7	140.0%	5	達成	事業/年	観光物産まちづくり推進課
87	明日を担う人づくり	学童保育利用登録者数	352	322	78.5%	410		人/年	子ども支援課
88	明日を担う人づくり	3-4か月児赤ちゃん健康相談受診率	92.1	92.1	94.0%	98.0		%	子ども支援課
89	明日を担う人づくり	1歳6か月児健診受診率	96.8	95.0	96.9%	98.0		%	子ども支援課
90	明日を担う人づくり	3歳児健診受診率	95.3	97.8	99.8%	98.0		%	子ども支援課
91	明日を担う人づくり	3歳児のう歯罹患率	36.1	34.6	98.3%	34.0		%以下	子ども支援課
92	明日を担う人づくり	2歳児親子歯科健診受診率	72.8	70.5	88.1%	80.0		%	子ども支援課
93	明日を担う人づくり	不登校児童生徒率	0.8	0.4	#DIV/0!	0	#DIV/0!	%	学校教育課
94	明日を担う人づくり	小学校(5・6年生)および中学校における外国語指導助手(ALT)派遣回数	1,050	1,050	100.0%	1,050	達成	回/年	学校教育課
95	明日を担う人づくり	小中学校施設の耐震改修率	73.4	100	100.0%	100	達成	%	教委 総務課
96	明日を担う人づくり	地域での体験活動等の参加者数	6,329	8,002	123.1%	6,500	達成	人/年	生涯学習課
97	明日を担う人づくり	生涯学習講座等受講者数	5,345	5,366	97.6%	5,500		人/年	生涯学習課
98	明日を担う人づくり	公民館利用者数	97,712	117,472	119.9%	98,000	達成	人/年	生涯学習課
99	明日を担う人づくり	図書貸出冊数	167,194	178,040	106.0%	168,000	達成	冊/年	生涯学習課
100	明日を担う人づくり	雲仙市図書館利用者数	15,836	16,300	101.9%	16,000	達成	人/年	生涯学習課
101	明日を担う人づくり	スポーツ教室参加者数	2,218	2,600	96.3%	2,700		人/年	生涯学習課
102	明日を担う人づくり	雲仙市民スポーツ大会出場競技者数	2,624	2,412	89.3%	2,700		人/年	生涯学習課
103	明日を担う人づくり	スポーツ施設の利用者数	377,842	322,538	84.4%	382,000		人/年	生涯学習課
104	明日を担う人づくり	芸術文化公演や美術展への来場者数	3,256	5,185	152.5%	3,400	達成	人/年	生涯学習課
105	明日を担う人づくり	文化施設の利用者数	74,415	94,230	125.6%	75,000	達成	人/年	生涯学習課
106	明日を担う人づくり	文化財の指定数	63	63	78.8%	80		件/年	生涯学習課
107	明日を担う人づくり	鍋島邸入場者数	12,616	12,585	57.2%	22,000		人/年	生涯学習課
108	明日を担う人づくり	郷土芸能保存団体数	40	40	87.0%	46		団体/年	生涯学習課
109	明日を担う人づくり	歴史資料館入場者数	7,457	6,864	78.4%	8,750		人/年	生涯学習課
110	明日を担う人づくり	郷土料理教室参加者数	891	471	52.3%	900		人/年	生涯学習課 健康づくり課